

## 障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査

## 福祉施設等アンケート 集計・分析（詳細版）

調査対象 国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）の登録者 2567名

調査機関 平成28年度9月20日（火）～9月30日（金）

調査方法 調査票郵送・回収

有効回答 341件

回収率 13.3%

分析者 国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）事業プロデューサー 鈴木 京子

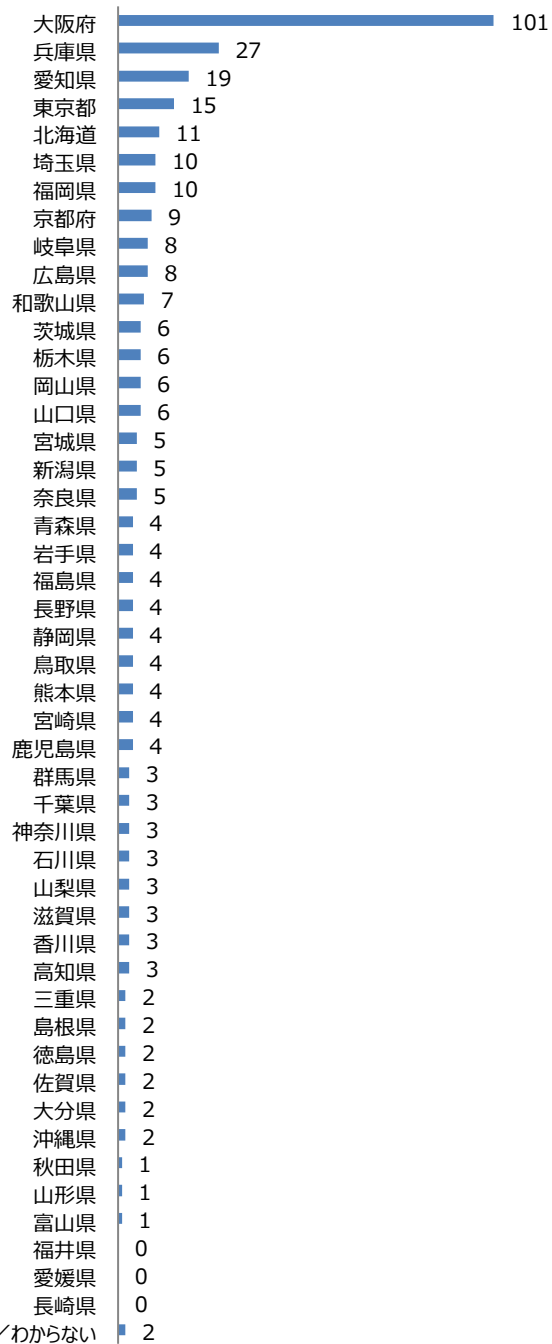
## I 貴団体について

## I Q1. 貴団体の設置場所、設立年

## I Q1-1. 都道府県名

	件	%
大阪府	101	29.6%
兵庫県	27	7.9%
愛知県	19	5.6%
東京都	15	4.4%
北海道	11	3.2%
埼玉県	10	2.9%
福岡県	10	2.9%
京都府	9	2.6%
岐阜県	8	2.3%
広島県	8	2.3%
和歌山県	7	2.1%
茨城県	6	1.8%
栃木県	6	1.8%
岡山県	6	1.8%
山口県	6	1.8%
宮城県	5	1.5%
新潟県	5	1.5%
奈良県	5	1.5%
青森県	4	1.2%
岩手県	4	1.2%
福島県	4	1.2%
長野県	4	1.2%
静岡県	4	1.2%
鳥取県	4	1.2%
熊本県	4	1.2%

設置場所（B福祉団体：I Q1-1）〈件〉



障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査（B 福祉施設）

宮崎県	4	1.2%
鹿児島県	4	1.2%
群馬県	3	0.9%
千葉県	3	0.9%
神奈川県	3	0.9%
石川県	3	0.9%
山梨県	3	0.9%
滋賀県	3	0.9%
香川県	3	0.9%
高知県	3	0.9%
三重県	2	0.6%
島根県	2	0.6%
徳島県	2	0.6%
佐賀県	2	0.6%
大分県	2	0.6%
沖縄県	2	0.6%
秋田県	1	0.3%
山形県	1	0.3%
富山県	1	0.3%
福井県	0	0.0%
愛媛県	0	0.0%
長崎県	0	0.0%
無回答／わからない	2	0.6%
合計	341	

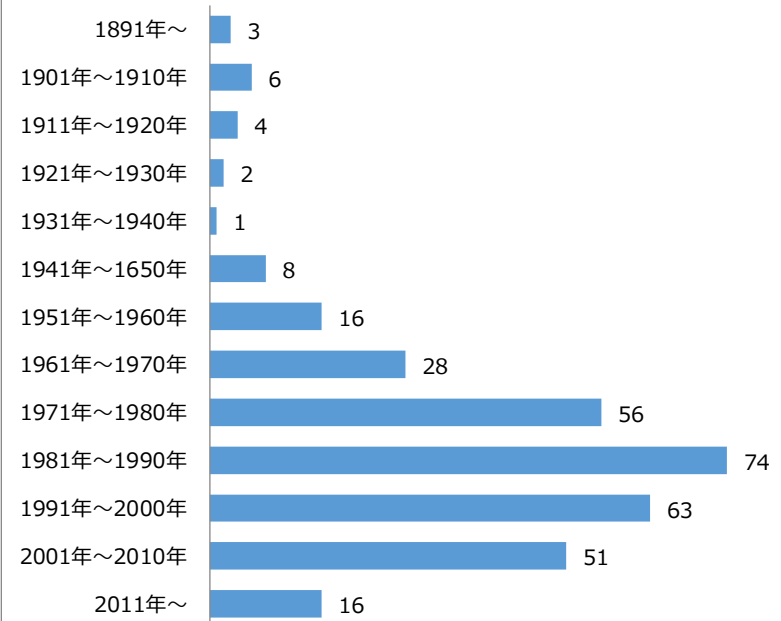
(有効回答数：341)

I Q1-2. 設立年 西暦 \_\_\_\_\_ 年

	件	%
1891年～	3	0.9%
1901年～1910年	6	1.8%
1911年～1920年	4	1.2%
1921年～1930年	2	0.6%
1931年～1940年	1	0.3%
1941年～1950年	8	2.3%
1951年～1960年	16	4.7%
1961年～1970年	28	8.2%
1971年～1980年	56	16.4%
1981年～1990年	74	21.7%
1991年～2000年	63	18.5%
2001年～2010年	51	15.0%
2011年～	16	4.7%
無回答／わからない	13	3.8%
合計	341	

(有効回答数：341)

設立年（B福祉団体：I Q1-2）〈件〉

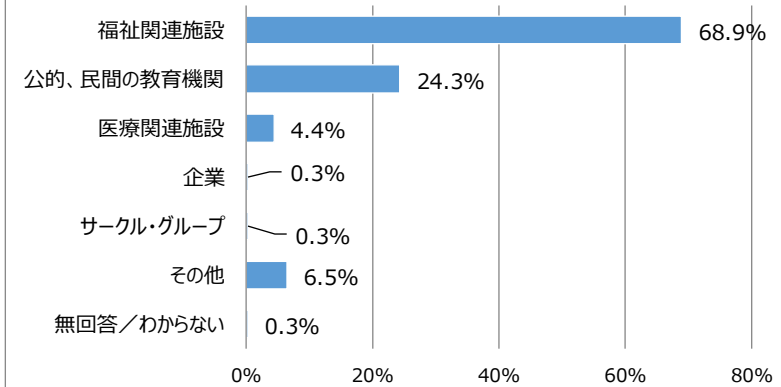


I Q2. 貴団体の種類（複数回答可）

	件	%
福祉関連施設	234	68.6%
公的、民間の教育機関	83	24.3%
医療関連施設	15	4.4%
企業	1	0.3%
サークル・グループ	1	0.3%
その他	22	6.5%
無回答／わからない	1	0.3%
合計	341	

(有効回答数：341)

貴団体の種類（B福祉施設：I Q2）

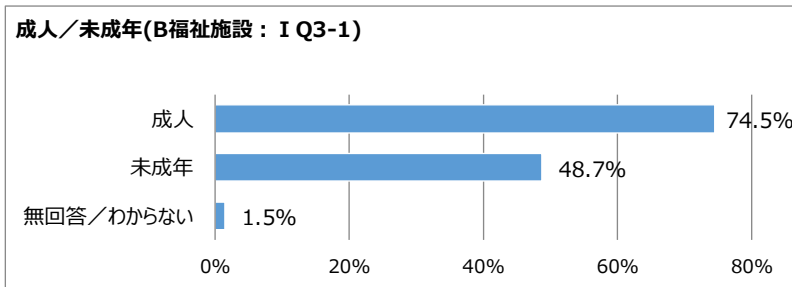


I Q3 貴団体の利用者（複数回答可）

I Q3-1. 成人/未成年

	件	%
成人	254	74.5%
未成年	166	48.7%
無回答／わからない	5	1.5%

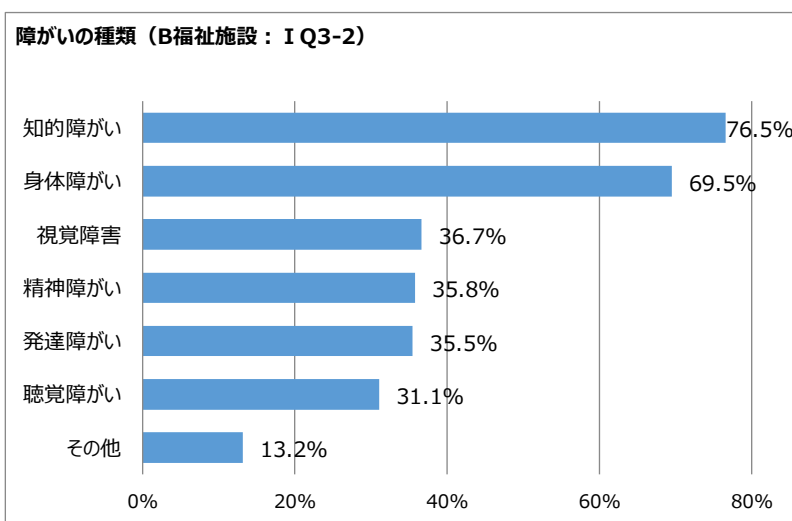
(有効回答数：341)



I Q3-2. 障がいの種類（複数回答可）

	件	%
知的障がい	261	76.5%
身体障がい	237	69.5%
視覚障害	125	36.7%
精神障がい	122	35.8%
発達障がい	121	35.5%
聴覚障がい	106	31.1%
その他	45	13.2%
無回答／わからない	0	0.0%

(有効回答数：341)



I Q3-1. 身体障がい 内訳

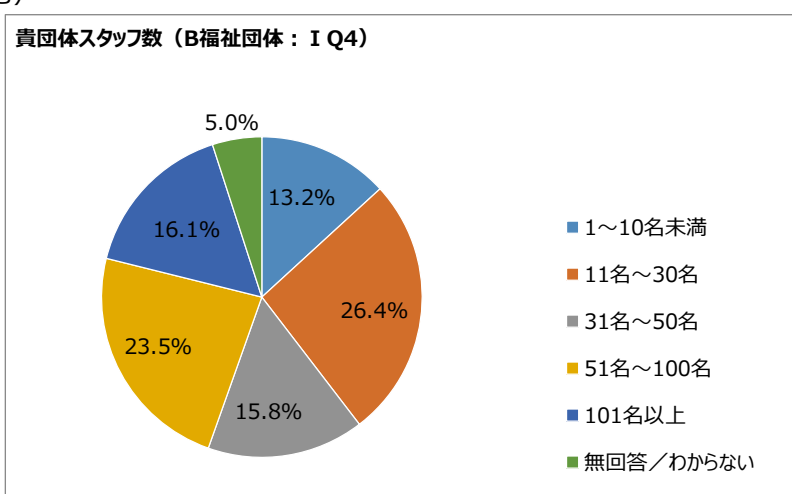
	件	%
身体障がい 車いす利用あり	202	59.2%
身体障がい 車いす利用なし	21	6.2%

(有効回答数：341)

I Q4. 貴団体スタッフ数（常勤・非常勤・パート含む）

	件	%
1～10名未満	45	13.2%
11名～30名	90	26.4%
31名～50名	54	15.8%
51名～100名	80	23.5%
101名以上	55	16.1%
無回答／わからない	17	5.0%
合計	341	

(有効回答数：341)

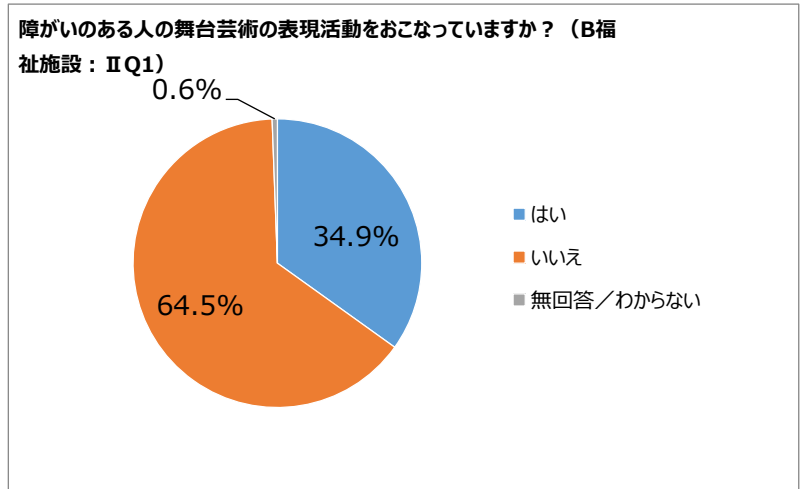


## II 障がいのある人の舞台芸術の表現活動について

### II Q1. 障がいのある人の舞台芸術の表現活動をおこなっていますか？

	件	%
はい	119	34.9%
いいえ	220	64.5%
無回答／わからない	2	0.6%
合計	341	

(有効回答数：341)

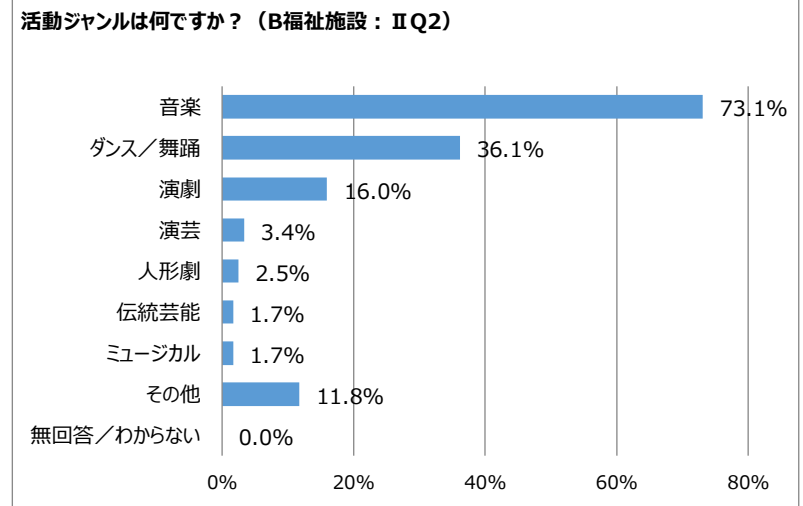


### II Q1 障がいのある人の舞台芸術の表現活動をおこなっていますか？で「はい」と回答した方に伺います

#### II Q2. 活動ジャンルは何ですか？（複数回答可）

	件	%
音楽	87	73.1%
ダンス／舞踊	43	36.1%
演劇	19	16.0%
演芸	4	3.4%
人形劇	3	2.5%
伝統芸能	2	1.7%
ミュージカル	2	1.7%
その他	14	11.8%
無回答／わからない	0	0.0%

(有効回答数：119)



#### II Q2. 活動ジャンル 具体的に

(1) ダンス／舞踊 ・コンテンポラリー×6 ・創作ダンス×5 ・ストリートダンス×5 ・音楽に合わせたリズムダンス×3 ・よさこい ソーラン×2 ・車いすダンス×1 ・バレエ×1 ・フォークダンス×1 ・ラインダンス×1	・ジャズダンス×1 ・エアロビクスダンス×1 ・フラダンス×1 ・ラテンダンス×1 ・郷土芸能舞踊×1 ・ゆっくりつく体操×1 ・その他 ジャンル不明×6
(3) 伝統芸能 ・狂言×1	・太鼓×1

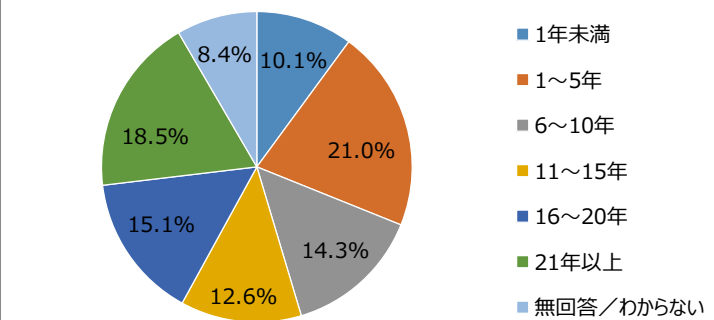
(4) 演芸 ・新喜劇×1 ・セリフ、声に振り付け×1	・落語×1 ・手話落語×1
(7) 音楽 ・歌唱・合唱×42 ・楽器演奏・合奏×40 ・和太鼓×26 ・ハンドベル×3 ・ジャンベなどの打楽器×3 ・手話歌×3 ・吹奏楽×2	・琴×2 ・ピアノ×1 ・ヘルマンハーブ×1 ・トーンチャイム×1 ・即興演奏×1 ・エイサー×1
(8) その他 ・パントマイム・身体表現×4 ・書道×2 ・美術・絵画×2 ・リズムあそび×1	・ミュージック・ケア×1 ・寸劇×1 ・手話歌×1

II Q3. 活動歴についてお答えください。

	件	%
1年未満	12	10.1%
1～5年	25	21.0%
6～10年	17	14.3%
11～15年	15	12.6%
16～20年	18	15.1%
21年以上	22	18.5%
無回答／わからない	10	8.4%
合計	119	

(有効回答数：119)

活動歴についてお答えください（B福祉施設：II Q3）

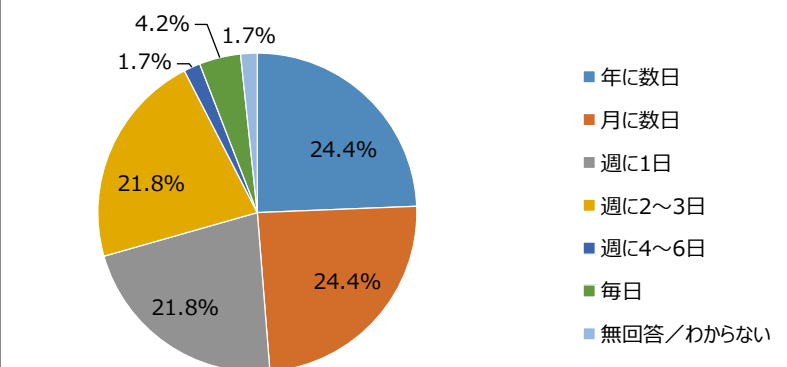


II Q4. 日頃の練習の頻度についてお答えください。（複数の活動がある場合は、合計をお答えください）

	件	%
年に数日	29	24.4%
月に数日	29	24.4%
週に1日	26	21.8%
週に2～3日	26	21.8%
週に4～6日	2	1.7%
毎日	5	4.2%
無回答／わからない	2	1.7%
合計	119	

(有効回答数：119)

日頃の練習の頻度についてお答えください。（B福祉施設：II Q4）



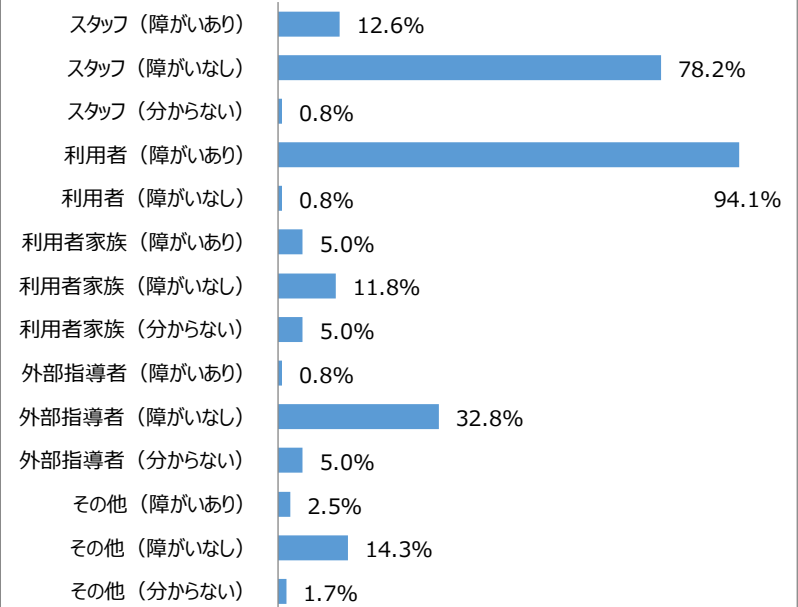
II Q5. 主に活動しているメンバーについてお答えください。（複数回答可）

福祉施設では、活動場所が施設内であることから活動するメンバーも施設内の利用者が中心で、メンバーのほとんどは障害者である。ともに活動している健常者は施設の職員や家族が中心で地域の舞台芸術活動団体や個人、文化施設との交流はほとんどないことが伺える。

	件	%
スタッフ（障がいあり）	15	12.6%
スタッフ（障がいなし）	93	78.2%
スタッフ（分からない）	1	0.8%
利用者（障がいあり）	112	94.1%
利用者（障がいなし）	1	0.8%
利用者（分からない）	0	0.0%
利用者家族（障がいあり）	6	5.0%
利用者家族（障がいなし）	14	11.8%
利用者家族（分からない）	6	5.0%
外部指導者（障がいあり）	1	0.8%
外部指導者（障がいなし）	39	32.8%
外部指導者（分からない）	6	5.0%
その他（障がいあり）	3	2.5%
その他（障がいなし）	17	14.3%
その他（分からない）	2	1.7%

（有効回答数：119）

主に活動しているメンバーについてお答えください  
（B福祉施設：II Q5）



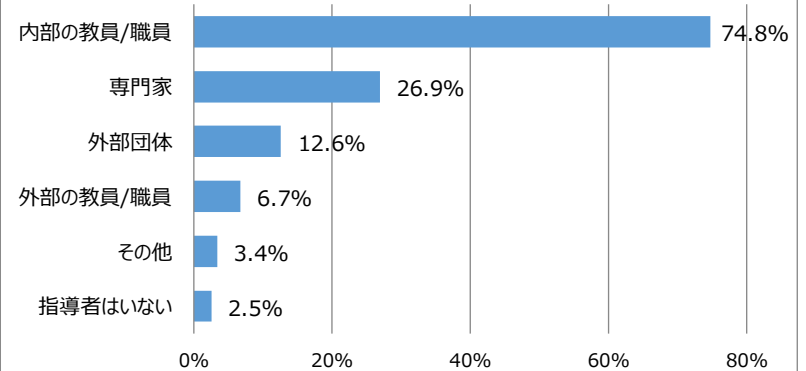
II Q6. 指導者はいますか？（複数回答可）

	件	%
内部の教員/職員	89	74.8%
専門家※	32	26.9%
外部団体	15	12.6%
外部の教員/職員	8	6.7%
その他	4	3.4%
指導者はいない	3	2.5%
無回答／わからない	0	0.0%

（有効回答数：119）

※専門家（作曲家・振付家・演出家など）

指導者はいますか？（B福祉施設：II Q6）



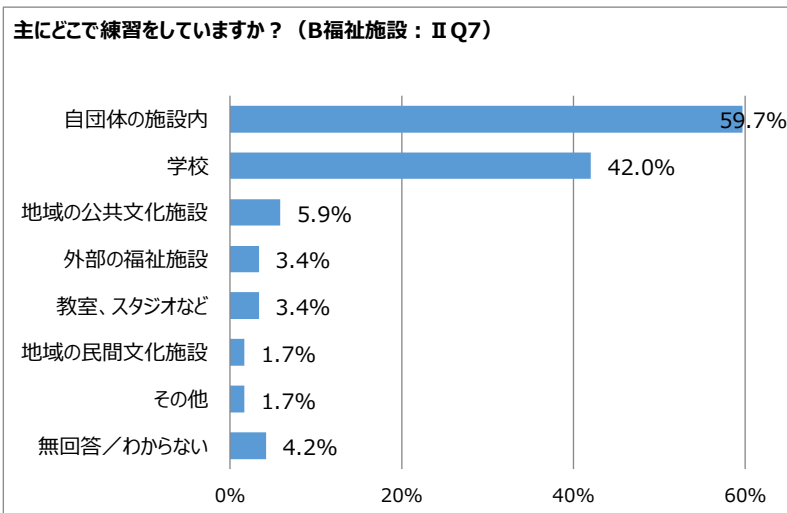
II Q6. その他 具体的に

・外部の人 ・地域の指導者 ・ボランティア ・個人ボランティア

II Q7. 主にどこで練習をしていますか？（複数回答可）

	件	%
自団体の施設内	71	59.7%
学校	50	42.0%
地域の公共文化施設	7	5.9%
外部の福祉施設	4	3.4%
教室、スタジオなど	4	3.4%
地域の民間文化施設	2	1.7%
その他	2	1.7%
無回答／わからない	5	4.2%

（有効回答数：119）



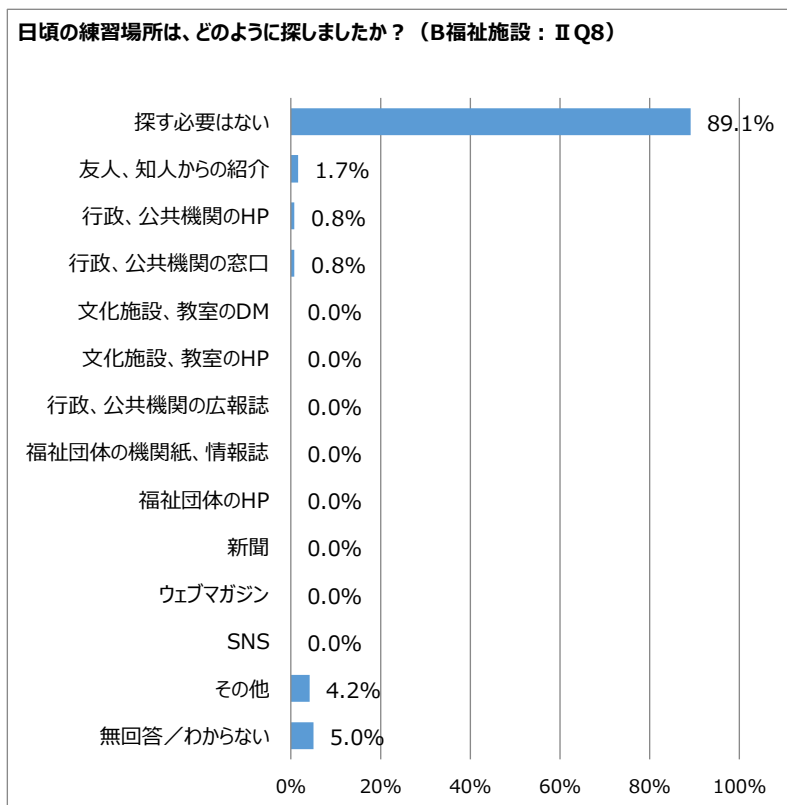
II Q7. その他 具体的に

・事業所 ・企業会議室

II Q8. 日頃の練習場所は、どのように探しましたか？（複数回答可）

	件	%
探す必要はない	106	89.1%
友人、知人からの紹介	2	1.7%
行政、公共機関のHP	1	0.8%
行政、公共機関の窓口	1	0.8%
文化施設、教室のDM	0	0.0%
文化施設、教室のHP	0	0.0%
行政、公共機関の広報誌	0	0.0%
福祉団体の機関紙、情報誌	0	0.0%
福祉団体のHP	0	0.0%
新聞	0	0.0%
ウェブマガジン	0	0.0%
SNS	0	0.0%
その他	5	4.2%
無回答／わからない	6	5.0%

（有効回答数：119）



II Q8. その他 具体的に

・当施設の貸館事業として外部団体が利用 ・法人の指示 ・さがしていない ・直接交渉  
 ・公民館、市立施設 .etc の利用

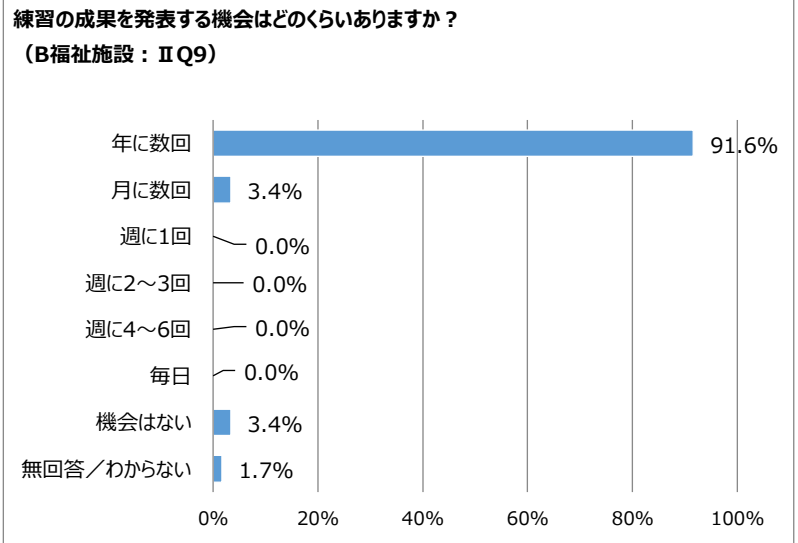


II Q9. 練習の成果を発表する機会はどのくらいありますか？

活動の発表はほとんどの施設が年に数回行っている。日々の活動においての地域交流はないが、発表が文化施設や観客としてくる地域の人々との交流の機会となっている。

	件	%
年に数回	109	91.6%
月に数回	4	3.4%
週に1回	0	0.0%
週に2～3回	0	0.0%
週に4～6回	0	0.0%
毎日	0	0.0%
機会はない	4	3.4%
無回答／わからない	2	1.7%
合計	119	

（有効回答数：119）



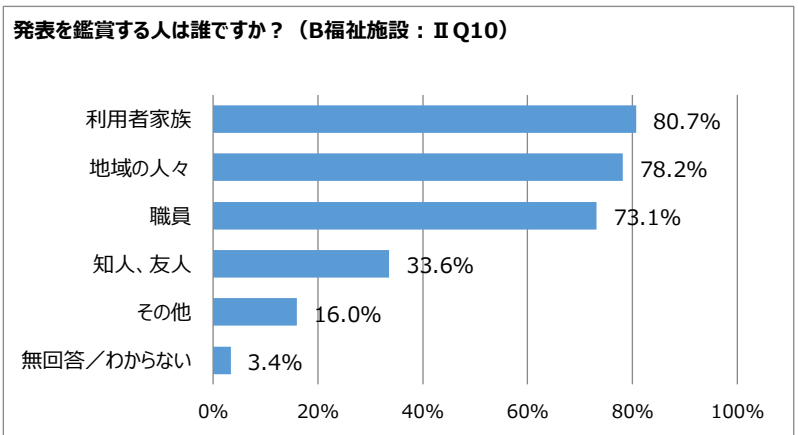
II Q9. 「ない」 発表しない理由

- ・療育のため ・まだ発表できるレベルじゃない
- ・演劇家との交流の中で、演劇の創作と発表を行っているため

II Q10. 発表を鑑賞する人は誰ですか？（複数回答可）

	件	%
利用者家族	96	80.7%
地域の人々	93	78.2%
職員	87	73.1%
知人、友人	40	33.6%
その他	19	16.0%
無回答／わからない	4	3.4%

（有効回答数：119）



II Q10-4. 地域の人々 具体的に

- ・地元自治会等 ・各種イベントにて実施 ・地域まつりに出演するため ・町会役員
- ・対象を限定していない ・市民 ・ボランティア等 ・利用者（障がい当事者） ・地元市民、府民
- ・住民 ・特養の利用者 ・福祉まつり ・町内会の方々 ・地域のお祭り等で上演するのが主
- ・高校生ボランティア ・学校近隣住民 ・交流校生徒、教職員 ・文化祭で来場してくださる方々
- ・学校の周りの地域住民 ・学校近隣の住民 ・他利用者 ・市主催の福祉大会等 ・別施設で
- ・自・他施設利用者 ・地域の住民、学校関係者 ・大仙校区自治会 ・地域のおまつり等で発表
- ・盛岡地区 ・誰でも鑑賞可能 ・学校が所在する町内の方々 ・日ごろ出入りしている地域の方
- ・福祉施設の利用及び職員、町内の小中学生 ・文化祭の来場者等 ・来校者
- ・地域のまつりに参加 ・文化祭の参加者 ・理事、評議員
- ・近隣住民、本校就学予定者、本校旧職員、本校卒業生 ・地域住民の方々
- ・学校周辺に住む方々 ・琴に興味がある方 ・ミュージシャンや発表に興味を持たれている人々
- ・市内の小学校特別支援学級児童 ・町民 ・教育関係者、地域の方
- ・他校の生徒と教員、家族 ・ボランティアとして地元の会社員有志の方
- ・社協まつり、近隣施設のまつりで ・呼びかけているが ・年に1回たんぼまつりで発表
- ・関係機関等 ・学校周辺の住民 ・市の市民活動フェスティバル、人権関係のイベント、自主事業
- ・行事での来訪者 ・近隣者(高齢者・学生など)
- ・学校運営協議会、地域で普段お世話になったり、交流している方々 ・近隣住民
- ・地区の夏まつりの際に発表を行う ・福祉施設 ・他施設のご利用者、職員 ・文化祭観客等
- ・所在地域には広報をしている ・施設周辺の住民 ・学校近辺の住民 ・十津川村内住民
- ・イベントにて

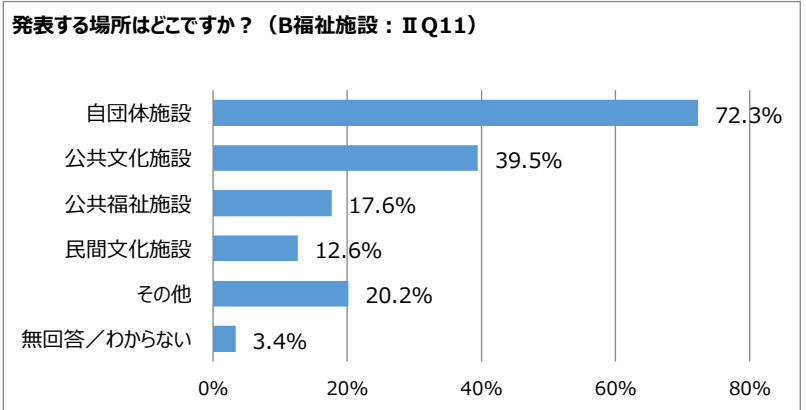
II Q10-5. その他 具体的に

- ・福祉施設関係者 ・他施設の利用者及び職員 ・小・中学生 ・卒業生
- ・ボランティアで来て下さる方 ・啓発講演時に発表するので来場してこられた広く市民
- ・関係者以外の一般の方 ・他施設・事業所の利用者、職員、家族 ・ヘルマンハーブ愛好家
- ・各特別支援学校の参加者（郊外での発表の場合） ・児童、生徒 ・大会に来られている方々
- ・福祉施設の利用者 ・一般客 ・他校の生徒と教員、家族 ・ひめされん祭りの来場者
- ・他団体のイベント、他施設からオファー ・一般の方々 ・各施設より参加（他 10 施設くらい）

II Q11. 発表する場所はどこですか？（複数回答可）

	件	%
自団体施設	86	72.3%
公共文化施設	47	39.5%
公共福祉施設	21	17.6%
民間文化施設	15	12.6%
その他	24	20.2%
無回答／わからない	4	3.4%

（有効回答数：119）



II Q11. その他 具体的に

- ・地域まつり（公園等） ・駅前、駐車場、商業施設(大型ショッピングモール)
- ・地域のお祭り等のステージ ・一般企業の絵画を展示 ・学校内体育館
- ・あそぼう会→体育館、武道場内 ・他の小中学校、福祉施設 ・福祉まつり会場
- ・昨年 大阪府障害者芸術文化コンテスト出場 ・地域の小中学校
- ・市民センター、大学・ホテル等ホール ・野外ステージ ・ライブハウス等
- ・府立体育館、大阪府咲洲庁舎（フェスパ） ・ショッピングモール広場等
- ・公共広場（ひめされん祭り広場） ・公民館、市交流センター、国際交流センター ・自校体育館
- ・地域のイベント ・小学校 ・地域の夏祭りや運動会 ・イベント

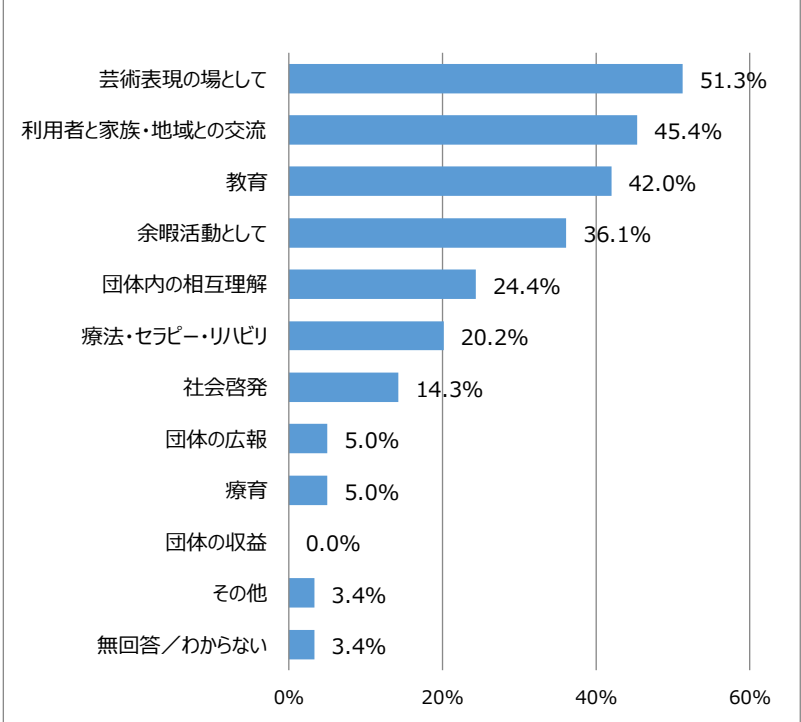
II Q12. 表現活動の目的は何ですか？（3つまで回答可）

表現活動の目的は、個人の表現活動と地域、家族との交流が多かった。自分自身も含め、日常の身近なところに目的をもって活動していると見受けられる。

	件	%
芸術表現の場として	61	51.3%
利用者と家族・地域との交流	54	45.4%
教育	50	42.0%
余暇活動として	43	36.1%
団体内の相互理解	29	24.4%
療法・セラピー・リハビリ	24	20.2%
社会啓発	17	14.3%
団体の広報	6	5.0%
療育	6	5.0%
団体の収益	0	0.0%
その他	4	3.4%
無回答／わからない	2	1.7%

（有効回答数：119 ただし8件が3つ以上選択）

表現活動の目的は何ですか？（B福祉施設：II Q12）



II Q12. その他 具体的に

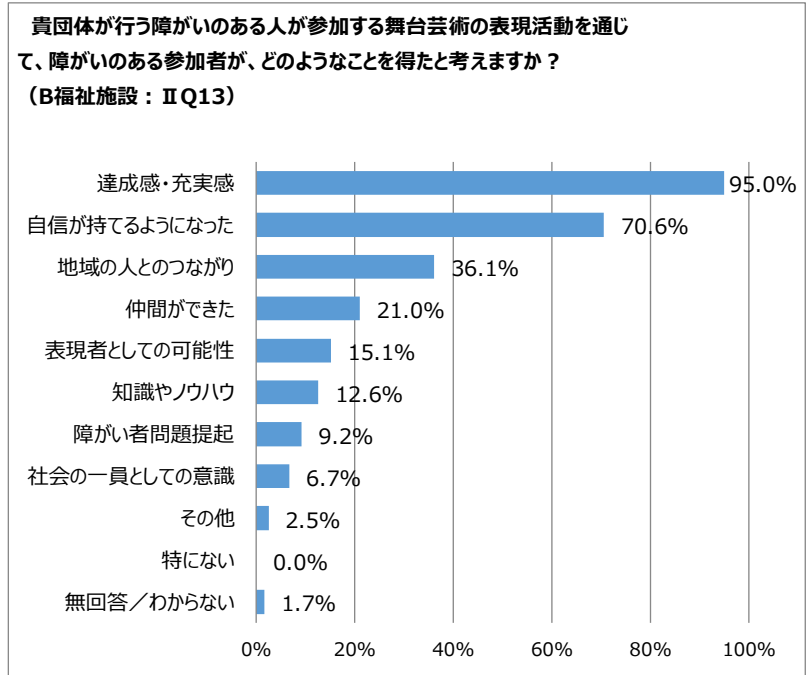
- ・利用者の自発的活動をうながす ・運動不足解消 ・児童生徒の発信の場
- ・音楽療法について知ってもらうため。

II Q13. 貴団体が行う障がいのある人が参加する舞台芸術の表現活動を通じて、障がいのある参加者が、どのようなことを得たと考えますか？（3 つまで回答可）

表現活動として得たものとして、達成感・充実感、自信を持つことができたが多く、表現活動をととして成長や自己肯定へとつながることが期待できる。また、地域に人、仲間ができるという、人とのつながりを得たものと感じる人も多かった。

	件	%
達成感・充実感	113	95.0%
自信が持てるようになった	84	70.6%
地域の人とのつながり	43	36.1%
仲間ができた	25	21.0%
表現者としての可能性	18	15.1%
知識やノウハウ	15	12.6%
障がい者問題提起	11	9.2%
社会の一員としての意識	8	6.7%
その他	3	2.5%
特にない	0	0.0%
無回答／わからない	1	0.8%

（有効回答数：119 ただし10件が3つ以上選択）



II Q13. その他 具体的に

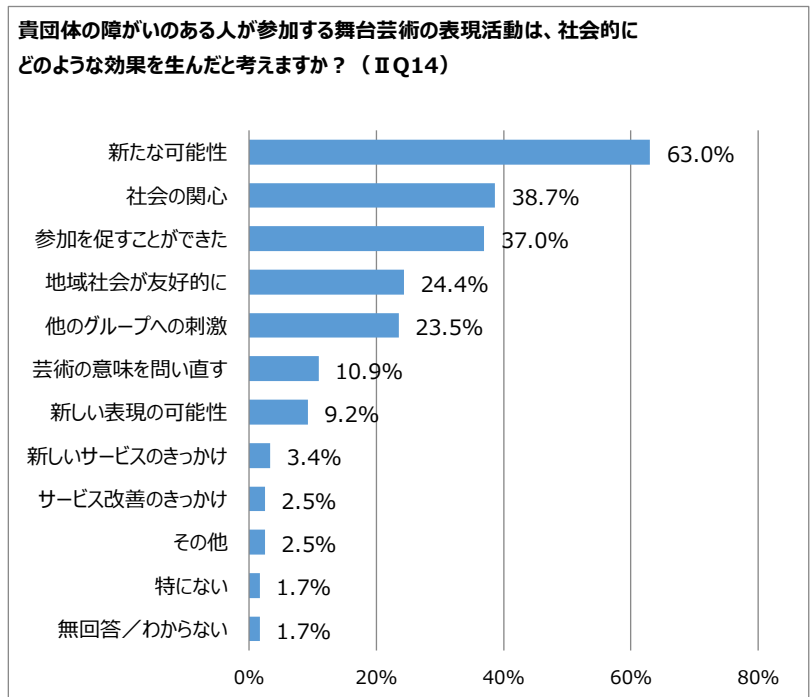
・余暇活動に楽しみができた ・楽しさ ・家族とのつながりを強く感じられる場となっている。

II Q14. 貴団体の障がいのある人が参加する舞台芸術の表現活動は、社会的にどのような効果を生んだと考えますか？（3 つまで回答可）

社会へ効果については、参加を促すきっかけや地域社会、他のグループなど具体的に周辺に波及効果があることがわかる。

	件	%
新たな可能性	75	63.0%
社会の関心	46	38.7%
参加を促すことができた	44	37.0%
地域社会が友好的に	29	24.4%
他のグループへの刺激	28	23.5%
芸術の意味を問い直す	13	10.9%
新しい表現の可能性	11	9.2%
新しいサービスのきっかけ	4	3.4%
サービス改善のきっかけ	3	2.5%
その他	3	2.5%
特にない	2	1.7%
無回答／わからない	1	0.8%

（有効回答数：119 ただし4件が3つ以上選択）



II Q14. その他 具体的に

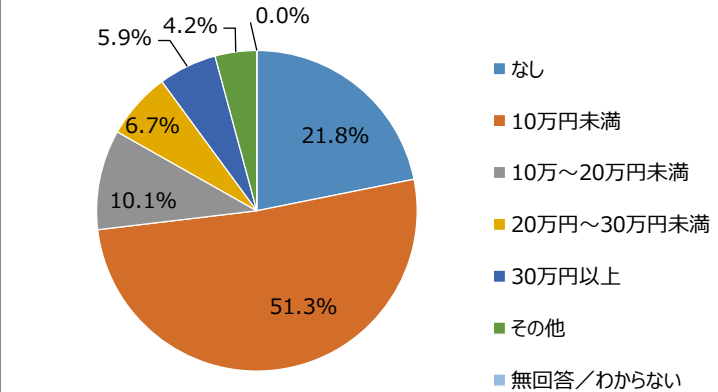
・地域交流、異年齢間の交流 ・伝える喜びを達成できた

II Q15. 貴団体における障がいのある人の舞台芸術表現活動の2015年度の経費はいくらでしたか？

	件	%
なし	26	21.8%
10万円未満	61	51.3%
10万～20万円未満	12	10.1%
20万円～30万円未満	8	6.7%
30万円以上	7	5.9%
その他	5	4.2%
無回答／わからない	0	0.0%
合計	119	

(有効回答数：119)

貴団体における障がいのある人の舞台芸術表現活動の2015年度の経費はいくらでしたか？（B福祉施設：II Q15）



II Q15. その他 具体的に

・コーラス教室の活動の一つとして行っているため単独の経費はない  
 ・各学部、学年にわかれており、それぞれで異なります。

II Q16. 障がいのある人の舞台芸術表現活動の経費をどのように賄いましたか？（1）～（7）を割合の高い順に並べて、各順位に番号を記入してください。（複数回答可）

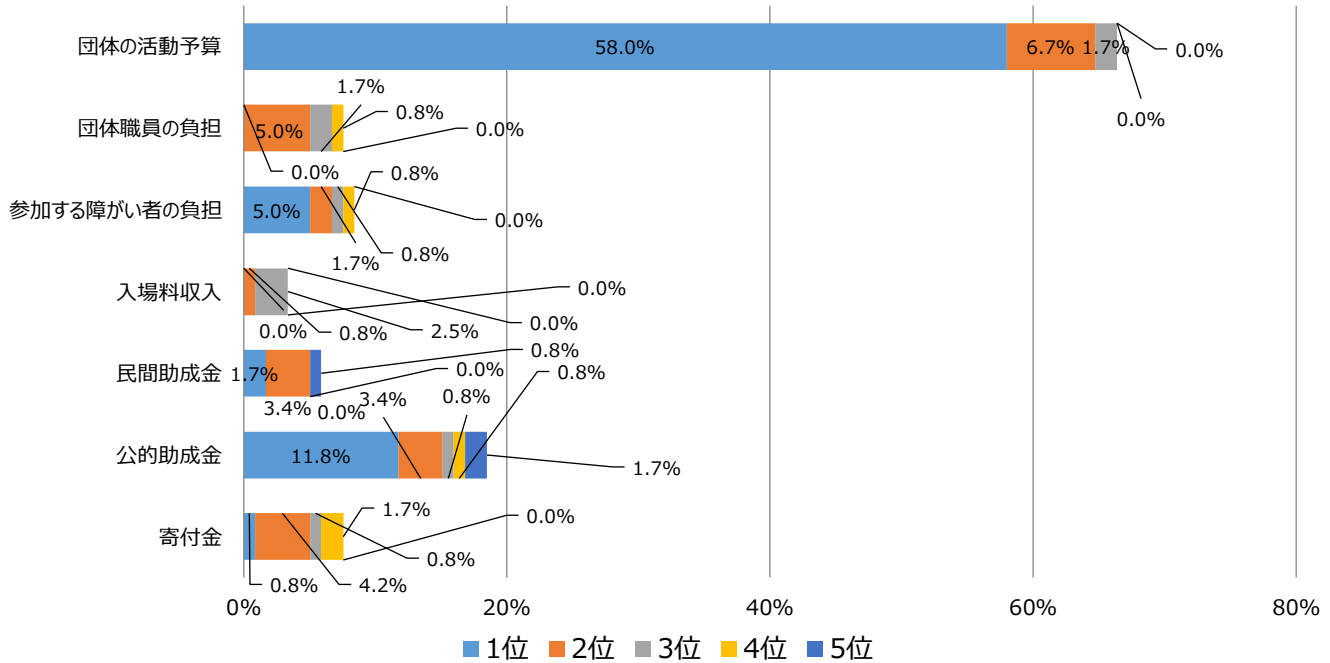
	1位	2位	3位	4位	5位
団体の活動予算	69	8	2	0	0
団体職員の負担	0	6	2	1	0
参加する障がい者の負担	6	2	1	1	0
入場料収入	0	1	3	0	0
民間助成金	2	4	0	0	1
公的助成金	14	4	1	1	2
寄付金	1	5	1	2	0
有効回答数（件）	92	30	10	5	3

（無回答＝「該当なし」とは限らない（書き忘れ、わからない等）ため除外して計算）

（割合）	1位	2位	3位	4位	5位
団体の活動予算	58.0%	6.7%	1.7%	0.0%	0.0%
団体職員の負担	0.0%	5.0%	1.7%	0.8%	0.0%
参加する障がい者の負担	5.0%	1.7%	0.8%	0.8%	0.0%
入場料収入	0.0%	0.8%	2.5%	0.0%	0.0%
民間助成金	1.7%	3.4%	0.0%	0.0%	0.8%
公的助成金	11.8%	3.4%	0.8%	0.8%	1.7%
寄付金	0.8%	4.2%	0.8%	1.7%	0.0%
有効回答数（件）	92	30	10	5	3

（無回答＝「該当なし」とは限らない（書き忘れ、わからない等）ため除外して計算）

障がいのある人の舞台芸術表現活動の経費をどのように賄いましたか？（1）～（7）を割合の高い順に並べて、各順位に番号を記入してください。（B福祉施設：II Q16）

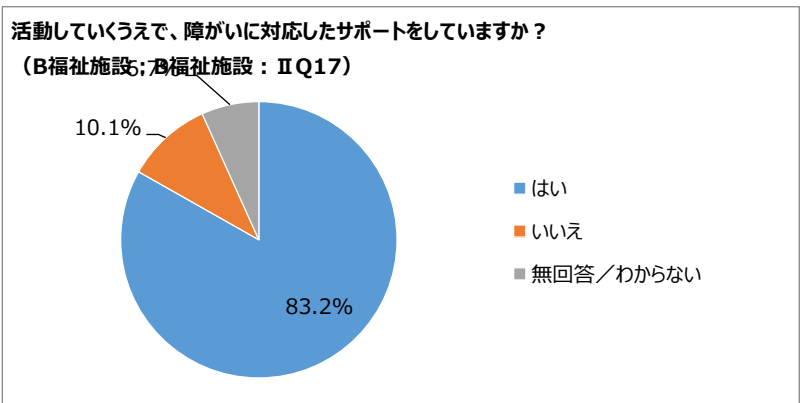


II Q17. 活動していくうえで、障がいに対応したサポートをしていますか？

活動するうえでのサポートについては、視覚情報、音声情報など障害に応じた情報保障やコミュニケーション支援など、意思疎通や情報を届ける方法などのサポートが多く、また、練習方法や作品内容などプログラムづくりの工夫も多かった。

	件	%
はい	99	83.2%
いいえ	12	10.1%
無回答／わからない	8	6.7%
合計	119	

（有効回答数：119）



II Q17. 「はい」 具体的に

- ・障がいのある児童が理解しやすい演目や教え方の工夫 ・ 台詞の工夫・衣装の工夫など ・参加者間の関係調整
- ・個々に合ったパート決め ・合理的配慮 ・担当支援員を決め、継続的に支援している
- ・特定の時間に多くの職員、利用者が参加できるようにしている ・用具を個々に利用しやすく調整（テーブルの高さなど）
- ・運営、打合せなど代行や補助 ・無理させない ・障がいの程度に合わせて指導 ・職員が利用者に寄り添い、一緒に演奏する
- ・有償福祉士等による支援 ・スキルに応じた内容（活躍できる場）の提供 ・集団における個別指導
- ・できることをする。できることに合わせて劇をつくる。
- ・学校教育の一環であり、日常から行っている障害者特性に応じた配慮（視覚的な支援、スモールステップ、くり返し etc）
- ・機能とレベルにあわせた対応を心がけている ・車イス等 ・それぞれの実態に応じて、音楽を編曲している

- ・聴覚障害に対応するため、視覚的な支援をしている ・病弱で、体力が、続かないので負担にならないような内容にしている
- ・個々の障害に応じた楽器選定や内容 ・発表会等にて、主催者側への情報提供
- ・わかりやすい表現で伝える。無理強いはない。
- ・（視覚障害）うでの動きなどが分かるように言葉で説明したり手をとって指導したりしている。（肢体不自由）イスの高さを配慮しています。
- ・手話通訳 ・手話通訳、歌詞の文字表示、現在の音符の位置指示など ・楽譜の拡大コピーなど ・見えにくさを補う工夫
- ・コーラス参加に際し、視覚障害者へ楽譜を音に出して吹き込んだものを提供している。また理解が難しい方には、楽譜の見方がわかるようにただし書きを添えている。
- ・発表会の会場までの送迎や移動の介助 ・発表の順番や職員の参加
- ・知的障がいの人に合したダンスやリズム打ちをしています。 ・聴覚障がい児への情報保障
- ・職員も支援員として利用者と一緒に練習し、舞台出演をする
- ・演劇において、セリフや動きがわかるように具体的に示す ・姿勢づくり、刺激の量、道具の工夫
- ・障害に応じた楽譜シートの作成 ・一人一人の個性を大切したり、得意なことを生かしたりしている
- ・障がいの多様性に配慮している。 ・振付けをわかりやすく、簡単でかついいものにする。
- ・指導の際、視覚的に理解をしたり、わかりやすい合図のようなものを作る。
- ・道具の工夫など ・視覚障害に対応している（移動、物品管理）
- ・各障害者に応じた脚本の制作、配役を行った
- ・障がいに応じて、電子ドラム等にかえたりして対応している ・能力に合う課題を用意する
- ・オカリナの作成（障がい者に合わせたもの） ・点字の歌詞カード作成、パートCDの作成等
- ・障害の特性により役割、配役を考慮している ・必要な支援（個性にも）
- ・一人一人に応じて表現方法を考えて、教材を選んでいる。 ・一緒に演奏する。日伝を掲示する。
- ・ダンスステップを工夫する。 ・視覚・聴覚支援 ・送迎、準備等
- ・レクリエーション要素を取り入れた練習を行っている。 ・児童生徒の興味に応じた内容を選んで指導
- ・動きの少ない方へは指導者が手を持ちリズムをとる。発語のない方は、呼吸、目など通し発声へのトレーニングを行う。
- ・楽符のアレンジ等 ・通常の個別対応が主 ・実態に合わせた指導・支援
- ・障がいの程度や実態に応じ、ダンスを変えたり、楽器をもちやすくしたりしています。
- ・楽器演奏をしやすいような補助具や台の工夫
- ・その生徒の持つ力をできるだけ発揮できるようにサポートしている。 ・教育活動の一環として個々に行う
- ・楽器指導、演奏活動のサポート ・一般の方を対象にする場合、音声通訳や字幕作成等を行う
- ・クラス担任をこえたかかわり ・車いすで乗れるバスを使っている ・ピンマイクの利用など
- ・障がいに応じ可能な活動参加 ・歌詞の準備や練習など
- ・体力的に過度な負担がかからないよう健康管理に留意しています。 ・環境の整備
- ・学校全体で取り組んでいる ・コミュニケーション手段 ・視覚障害支援
- ・表現しやすい振付、楽器の工夫、全員が前に出る場面を設定 ・字幕の呈示
- ・移動時の支援。発表時に職員をそばにつける。 ・生徒全員が生き生き踊れる内容を作る。
- ・担当楽器等を障がいに応じて決めている。点字楽譜も使用している。ダンスは全盲者と弱視者をペアにしている。
- ・利用者の配慮事項を指導者と共有する場を持った
- ・毎年参加利用者が活動に適しているか検討している。自具作成など。 ・移動支援を行う
- ・障がい特性を理解したうえで、活動されている方が輝くことのできる、斬新で独特の魅力にあふれた舞台芸術に向けて対応している。
- ・要約筆記者の派遣、依頼、点字・拡大資料の作成

II Q18. 活動を継続していくうえで、何が問題になっていますか？以下（１）～（６）をもっとも深刻なものから順に並べて、各順位に番号を記入してください。

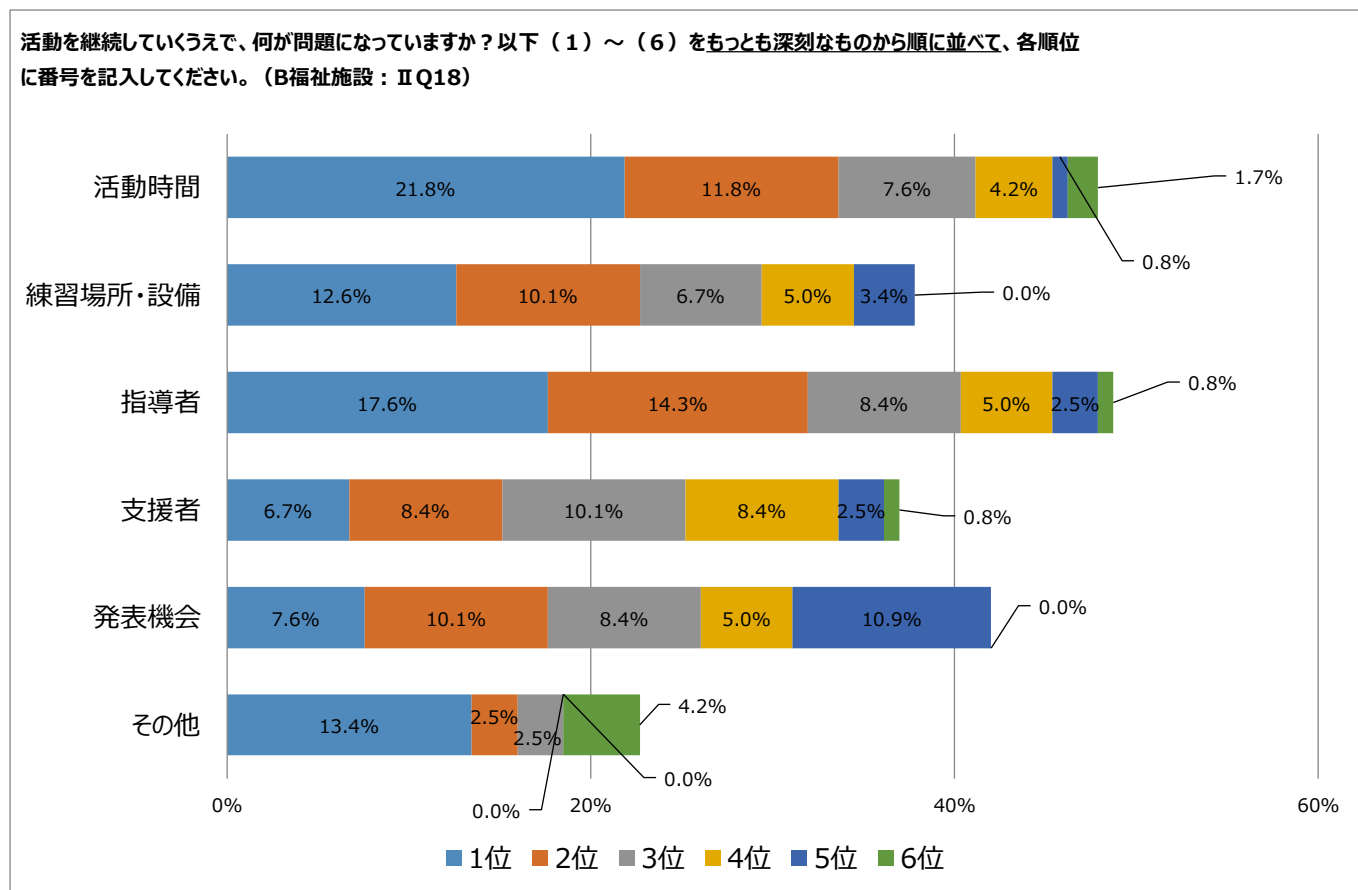
活動を継続する上での問題に活動時間と指導者が上位に多く挙げられている。施設での活動の多くは、職員が指導者となっていたが、表現活動においては、専門の指導者を求めていることがわかる。少ない予算の中での活動であるため、活動時間を増やすことや指導者を受け入れる活動資金が不足していると思われる。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
活動時間	26	14	9	5	1	2
練習場所・設備	15	12	8	6	4	0
指導者	21	17	10	6	3	1
支援者	8	10	12	10	3	1
発表機会	9	12	10	6	13	0
その他	16	3	3	0	0	5
有効回答数（件）：	95	68	52	33	24	9

（無回答＝「該当なし」とは限らない（書き忘れ、わからない等）ため除外して計算）

（割合）	1位	2位	3位	4位	5位	6位
活動時間	21.8%	11.8%	7.6%	4.2%	0.8%	1.7%
練習場所・設備	12.6%	10.1%	6.7%	5.0%	3.4%	0.0%
指導者	17.6%	14.3%	8.4%	5.0%	2.5%	0.8%
支援者	6.7%	8.4%	10.1%	8.4%	2.5%	0.8%
発表機会	7.6%	10.1%	8.4%	5.0%	10.9%	0.0%
その他	13.4%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%	4.2%
有効回答数：	95	68	52	33	24	9

（無回答＝「該当なし」とは限らない（書き忘れ、わからない等）ため除外して計算）





II Q18. その他

1 位 ・参加者の意欲低下 ・問題がない ・発表者とスタッフの減少 ・生徒の実態、人数  
 ・賞金 ・演奏できる楽器に限られている ・活動資金 ・生徒数の減少  
 ・発表者の高齢化、A D L の低下など ・利用者の高齢化 ・予算  
 ・文科省の助成金事業なので、毎年申請する必要があり、採択されるかどうかは不確定である。  
 ・障がいのある人（障害の重度化） ・資金源

2 位 ・経費 ・情宣（地域への）

3 位 ・予算 ・脚本 ・高齢化しており、車いす利用者が増え、移動等に困難さが増している。

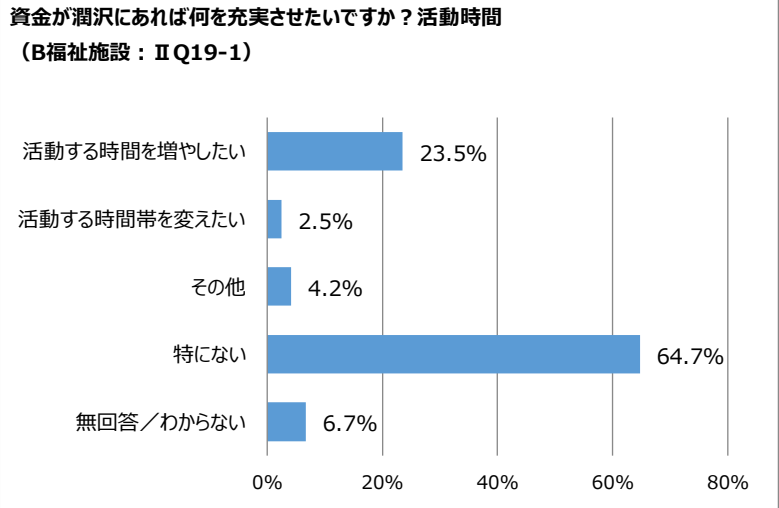
6 位 ・体調管理

II Q19. 資金が潤沢にあれば何を充実させたいですか？（複数回答可）

II Q19-1. 活動時間

	件	%
活動する時間を増やしたい	28	23.5%
活動する時間帯を変えたい	3	2.5%
その他	5	4.2%
特にない	77	64.7%
無回答／わからない	8	6.7%

（有効回答数：119）



II Q19-1. 活動時間 その他 具体的に

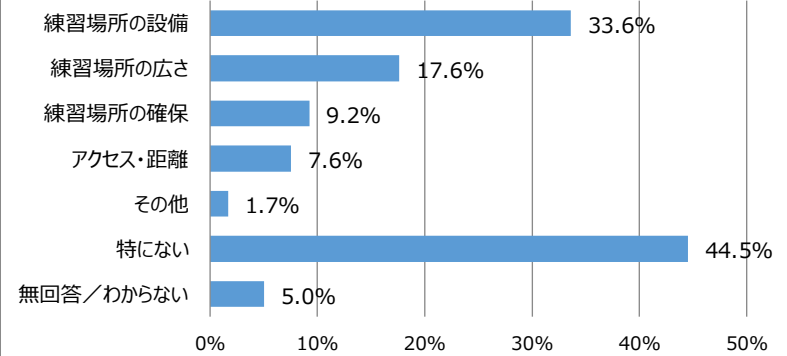
・サポートする人を増やしたい ・支援者、指導者増員  
 ・メンバーがスケジュールを選択できる時間枠 ・師料の衣装代 ・楽器等の購入  
 ・講師の指導回数を増やす ・楽器類や衣装、舞台装置など充実  
 ・子ども障がいに合わせた道具等を購入したい。 ・発表に必要な衣装やグッズ ・作品の質を高めたい  
 ・舞台設備が老朽化しており、刷新したい。 ・資源を増やしたい（活動行うあたって器具備品）  
 ・発表機会を増やしたい ・設備投資にあてたい ・一流の芸術に触れ、指導をしてほしい  
 ・小道具 ・現状の資金（回数）で十分である。 ・衣装、装置（舞台）照明

II Q19-2. 練習場所・設備

	件	%
練習場所の設備	40	33.6%
練習場所の広さ	21	17.6%
練習場所の確保	11	9.2%
アクセス・距離	9	7.6%
その他	2	1.7%
特にない	53	44.5%
無回答／わからない	6	5.0%

(有効回答数：119)

資金が潤沢にあれば何を充実させたいですか？ 練習場所・設備  
(B福祉施設：II Q19-2)



II Q19-2. 練習場所・設備 具体的に

- ・冷暖房 ・太鼓の保管、かがみ、防音 ・充実させたい ・スピーカーなどの音響、鏡、楽器
- ・楽器がほしい ・楽器等の購入 ・音の視覚化ソフトなどIT関連機器 ・楽器、音響設備の充実
- ・スモークやライトの特殊装置 ・楽器及び付属品の購入 ・楽器類や衣装、舞台装置など充実
- ・性能の良いピンマイク、衣装 ・子ども障がいに合わせた道具等を購入したい。
- ・一人一人の障がい特性に応じた教具の充実 ・冷房 ・発表必要な衣装やグッズ
- ・さまざまな楽器や音響機材を揃えたい ・音響機器の充実
- ・様々なステージに向けた練習が出来るような充実した設備
- ・舞台設備が老朽化しており、刷新したい。発表グループが多数あるので、練習できる広い場所が少ない。老朽化。
- ・冷房がない音楽室では夏の練習は大変である。 ・空調使用等 ・活動に応じた器具、空調音響設備
- ・音響・空調 ・衣装代、プロジェクター音響卓を買いたい ・設備投資にあてたい。音響等の充実
- ・学校全体が古くなってきており、手狭 ・楽器（琴）の新規購入 ・小道具 ・空調設備
- ・道具や置場の充実 ・楽器を増やしたい ・衣装、装置（舞台）照明

II 19-2. 練習場所・設備 その他 具体的に

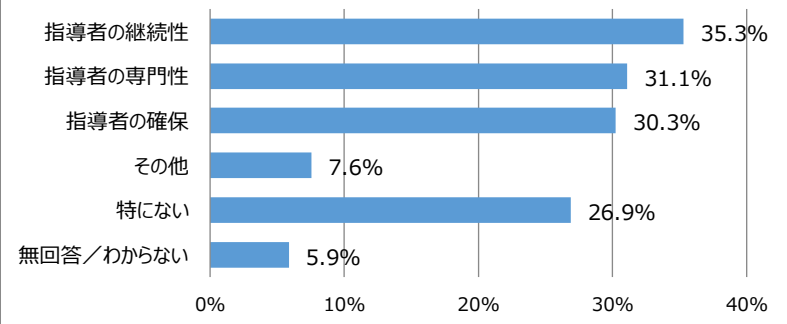
- ・教材の費用にあてたい ・送迎サービスを実施する ・性能の良いピンマイク、衣装 ・空調
- ・衣装代、プロジェクター音響卓を買いたい ・楽器（琴）の新規購入

II Q19-3. 指導者

	件	%
指導者の継続性	42	35.3%
指導者の専門性	37	31.1%
指導者の確保	36	30.3%
その他	9	7.6%
特にない	32	26.9%
無回答／わからない	6	5.0%
合計	119	

(有効回答数：119)

資金が潤沢にあれば何を充実させたいですか？ 指導者  
(B福祉施設：II Q19-3)



II Q19-3. 指導者 その他 具体的に

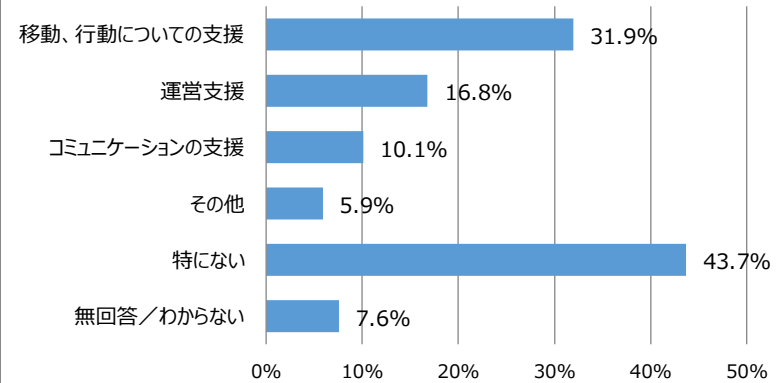
- ・様々な指導者研修会に参加したい ・指導者への謝礼の増額（安価でやっていただいているので）
- ・講師謝礼を増やす ・指導者が多忙で調整が難しい ・方向性の確認。（価値の共有を深めたい）
- ・指導者のスキル
- ・体操と演習の専門家はいるが、その他発声や身体表現などいろいろな専門家にかかわってほしい。
- ・一流の芸術に触れ、指導をしてほしい ・知的障害者に理解があるか否か

II Q19-4. 支援者

	件	%
移動、行動についての支援	38	31.9%
運営支援	20	16.8%
コミュニケーションの支援	12	10.1%
その他	7	5.9%
特にない	52	43.7%
無回答／わからない	9	7.6%
合計	119	

（有効回答数：119）

資金が潤沢であれば何を充実させたいですか？支援者  
（B福祉施設：II Q19-4）



II Q19-4. 支援者 その他 具体的に

- ・支援者の増員（指導者だけではきめ細やかに教えられない） ・サポートする人を増やしたい
- ・支援員の休日出勤の代休 ・興味がないわけでないが、練習のスタートラインにたつまでも時間がかかる
- ・ボランティア ・楽器運搬が大変である ・支援者にかかる必要経費

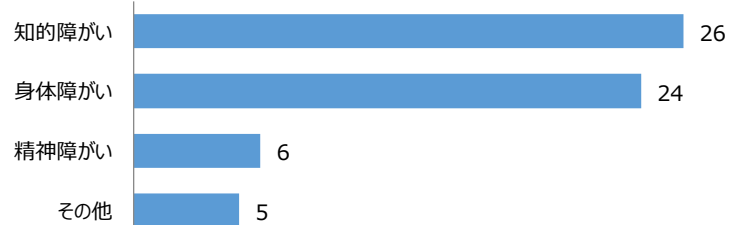
II Q19-4-A 支援者 移動、行動についての支援

移動行動支援については、視覚障害者のガイドヘルパーを比較的想像するが、知的障害のある人の多くが移動や行動支援を求めていることがわかる。

	件	%
知的障がい	26	68.4%
身体障がい	24	63.2%
精神障がい	6	15.8%
その他	5	13.2%

（有効回答数：38）

資金が潤沢であれば何を充実させたいですか？支援者 移動、行動についての支援（B福祉施設：II Q19-4A）〈件〉



II Q19-4-A. その他 具体的に

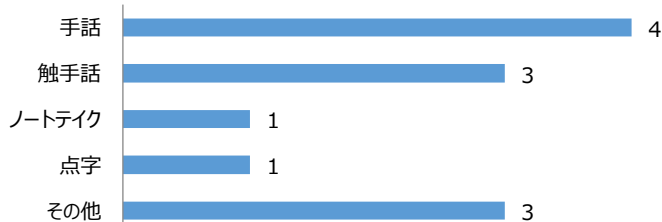
- ・視覚障害 ・看護師の配置 ・視覚 ・視覚障がい

II Q19-4-B コミュニケーションの支援

	件	%
手話	4	28.6%
触手話	3	21.4%
ノートテイク	1	7.1%
点字	1	7.1%
その他	3	21.4%

（有効回答数：38）

資金が潤沢であれば何を充実させたいですか？コミュニケーションの支援  
（B福祉施設：II Q19-4B）〈件〉



II Q19-4-B. その他 具体的に

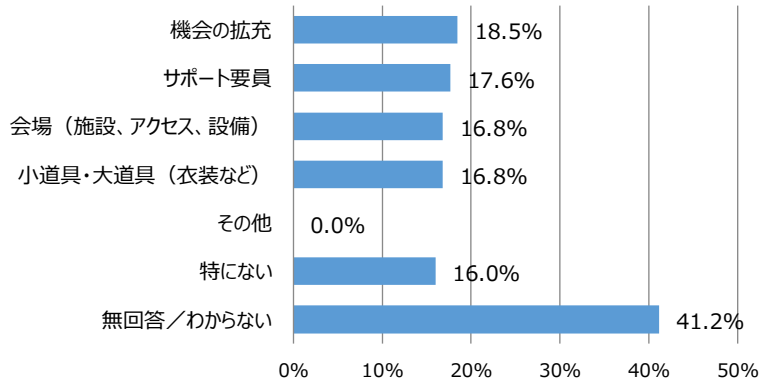
- ・録音機器を使用する
- ・移動支援
- ・個々に応じた表現方法

II Q19-5. 発表の機会

	件	%
機会の拡充	22	18.5%
サポート要員	21	17.6%
会場（施設、アクセス、設備）	20	16.8%
小道具・大道具（衣装など）	20	16.8%
その他	0	0.0%
特にない	19	16.0%
無回答／わからない	5	4.2%

（有効回答数：119）

資金が潤沢であれば何を充実させたいですか？発表の機会  
（II Q19-5）



II Q20. 資金繰りで工夫をしていることがあればお答えください。

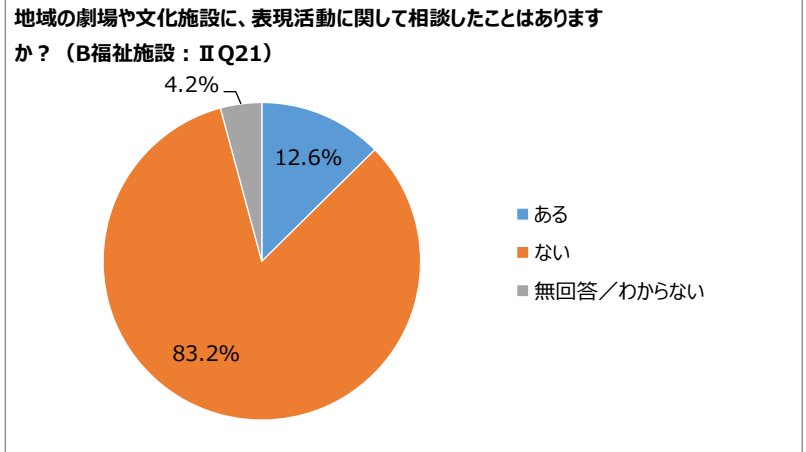
- ・特にない
- ・アルミ缶を回収して換金している。
- ・授業で使用するもつを使うようにしている。
- ・一流の芸術に触れたいという希望があるが、難しい。
- ・助成金を必ず申し込む
- ・特になし
- ・無

## II Q21. 地域の劇場や文化施設に、表現活動に関して相談したことはありますか？

相談しことがない理由には、日々の活動は施設内や学校内で行っており、地域の劇場や文化施設を利用するのは、成果発表時だという施設が多く、発表時も単独公演ではなく、地域の文化祭や福祉イベントでの出演なので相談が不要であるという理由が多かった。一方、相談した中では、単独で発表公演をするための相談や、日々の活動で使用するときの料金や設備についての相談が多かった。

	件	%
ある	15	12.6%
ない	99	83.2%
無回答／わからない	5	4.2%
合計	119	

（有効回答数：119）



## II Q21-1. 「ある」相談場所（人）と相談内容を具体的に

- ・利用経費 ・ホールの利用料について ・楽器等の搬入を済やかに配置できるように事前打ち合わせを行う
- ・市の施設を使って年 1 回発表の機会を設けている ・スタッフとの打ち合わせ（音楽会について）
- ・施設などで演奏会をしている為 ・今のところ必要性を感じていないため ・会場の使用料について
- ・ミュージシャンと地域でのイベント出演が行えるように相談した。 ・会場としての使用条件
- ・市内の文化ホールや市民交流センターでは、音響や照明は、ホール所属の会社も使わなくてはならないので、日当が払いきれない。専門知識のある人がいれば研修など受けて、ホール設備がつかえるようにしてもらいたいと、市民公益活動支援センターに訴えているが、ホールからの返答はないようだ。
- ・札幌市豊平館に演奏会の相談をした ・障害者への理解
- ・可能な時間帯や内容変更を探っているが、有料であったり遠かったりして実現しない。
- ・発表できる場の相談

## II Q21-2. 「ない」相談しなかった理由があれば、具体的に

- ・特になし ・場所はあり、内容についてはプロの舞踊家に関わってくれているため
- ・施設内で解決している ・必要を感じることがないから ・移動がむずかしい。慣れた場所がのぞましい。
- ・文化祭のみの発表だから ・校内で発表を行っているため ・学校での発表のため
- ・特になし ・自治体の事業として参加しているので必要なかった。 ・できる範囲で実施している
- ・自施設での開催が可能であると共に、学習発表会として行っているため
- ・校内での発表であること、美術や音楽等の芸術関連の免許を持っている教員がいるため。
- ・依頼があるため
- ・健常者が興味を持ち足を運ぶ事が出来たら、もっと表現活動が活発になると思われます。
- ・指導者に任せている。 ・学校で行うのが何れも安全で行い安いと考えた。
- ・余暇活動を行なっている ・指導者がいるため ・障がいのある方が使いやすい施設が少ない
- ・音楽療法の目的が表現活動に重点をおいていないため（昨日向上目的）
- ・日頃交流がなく、なじみがないため

II Q22. 障がいのある人の表現活動についての意見や希望などがあればお聞かせください。

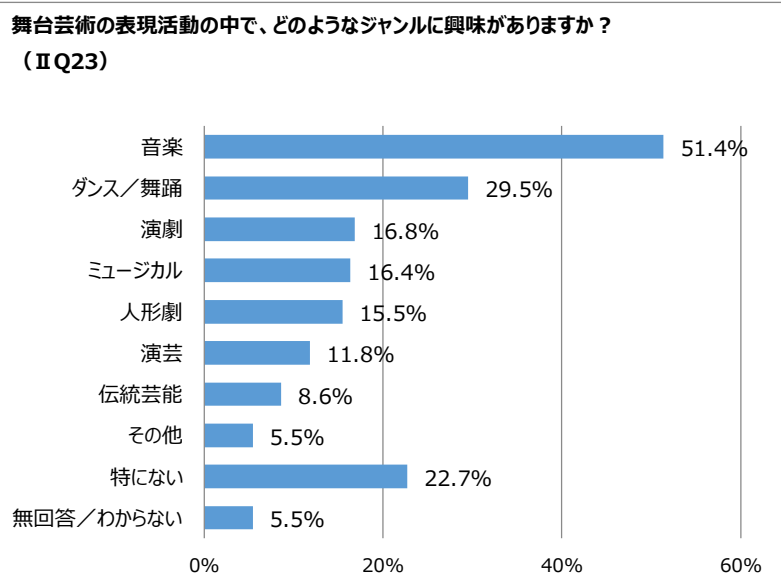
- ・発表の機会が増えれば、日々の練習にも力が入ります。
- ・もっと広く宣伝して、ビッグ・アイのホールが満席になるほど、活動そのものが有名になってほしいと思いました。（芸文フェスタ 2016）
- ・障がいあるなし、ジャンルかのカベをとりはらい。自由な表現、未知の表現を探りたい。その可能性がおおいにある。
- ・唄うことにより表情が豊になり、楽器等を使用することによって手指機能維持向上に繋がっている。また、演奏中は無我夢中にて一生懸命さの姿が伺える。
- ・発表できる場がたくさんあればと思います。その際、応募資格等の基準が厳格だと応募しにくいので、簡単な手続きで応募できることが望ましいと思います。
- ・授業としての活動（少人数）をどこまで発表させるか、今後の方針は決まっていない
- ・スポーツにはパラリンピック等、世界的な大会が行われていますが、舞台芸術には世界的どころか、国内、全国的な大会は見当りません。大阪府障がい者芸術文化コンテスト等で優秀な団体が次のステップへ進める様な全国的な大会が行われることを望みます。
- ・子ども達一人一人の持っている能力等を発表する場面が、増えることで、自信につながったり、他者とのつながりができるため、たくさんの表現活動の場があるとよい。
- ・指導者の専門性に欠けるため、専門の方に指導していただきたい。
- ・健常者が興味を持ち足を運ぶ事が出来たら、もっと表現活動が活発になると思われます。
- ・音楽（コーラス）を団体で行っていくうちに利用者さん個々が音楽の楽しさを学び、共通性の話題（コミュニケーション）が増大した。そして、発表回数を重ねるごとに個々が自信を身に付け、地域に出て、たくさんの地域の人々とつながりを持ち、あらゆるイベントや地域でのイベントに出演したい等、更なる「夢と希望」を抱き「いきがい」を日々感じ取るようになった。これからも、さまざまな地域で障がい者の方々が積極的に参加できるイベントを増やして欲しい。
- ・指導者および協力していただいた方々とのコミュニケーションや共通理解を十分に図りたい。
- ・福祉サービスの提供時にしぼられ、もっと自由の時間の使い方が出来き、それを支えるスタッフが充実するとより積極的に活動展開できる。
- ・社会地域の方々との交流の場や発表の場の提供が増えると障がい者理解にもなり、利用者の意識向上や新たな可能性を見つける事ができるきっかけとなる。
- ・発表者は、毎年、本当によく練習し、いきいき発表します。多くの方に見てほしいと思う反面、防犯上の問題やプライバシーの問題で広く見てもらえないのが現状です。
- ・学校外の表現活動のグループに所属したい生徒もいるが、適切なグループがなかったり、保護者の送迎の問題があり参加できない状況もあるようである。
- ・教育活動の一環として、学習発表会（ステージは小学部・中学部）、地域での発表（有志）。校内発表（高等部）という風に定着しています。表現活動することで、積極的になり、いろいろな場面で好影響があるので、ぜひ継続させていきたいと思っています。
- ・数少ない発表の場ですので一人一人の個性が“発揮できる場”としてこれからも参加していきたいです。
- ・年に1回法人のまつりで発表にたずさわったばかりで、これからだと思っています。
- ・手帳のある人（養育、身体、精神保健福祉）とない人で、いっしょに9年間演劇活動をしている。（いっしょに舞台上で芝居をする）。「障害」を売りにしない、普通のおもしろい芝居をめざしているが、障害者が演じていても人権問題は取り上げず、障害者が演じていてもお客様に届くよう「演じる」ことを求めているので、なかなか脚本が難しいです。
- ・基本的にもっと機会が増えてほしいのと、一般の方々との一緒に機会で行えるのがのぞましいと思います。
- ・動きたくなるような日常的な練習は何が必要か、学ぶ必要があると思う。
- ・希望があれば実施したい気持ちはあるが、日常生活の支援だけで精一杯な状況です。

**II Q1 障がいのある人の舞台芸術の表現活動をおこなっていますか？で「いいえ」と回答した方に伺います**

II Q23. 舞台芸術の表現活動の中で、どのようなジャンルに興味がありますか？（複数回答可）

	件	%
音楽	113	51.4%
ダンス／舞踊	65	29.5%
演劇	37	16.8%
ミュージカル	36	16.4%
人形劇	34	15.5%
演芸	26	11.8%
伝統芸能	19	8.6%
その他	12	5.5%
特にない	50	22.7%
無回答／わからない	11	5.0%

（有効回答数：220）



II Q23. 興味のあるジャンル 具体的に

<p>(1) ダンス／舞踊</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャズダンス</li> <li>・ストリートダンス×4</li> <li>・アップテンポで楽しいダンス</li> <li>・全般</li> <li>・エアロビクス</li> <li>・ヒップホップ×3</li> <li>・フラダンス</li> <li>・コンテンポラリー</li> <li>・活動でラテンダンスをしています</li> <li>・バレエ</li> <li>・現代的なリズムのダンス</li> <li>・シャンソン</li> <li>・車椅子ダンス×3</li> <li>・ダンス、フィットネスダンス</li> <li>・小さくばで当校に来て上演いただいたもの</li> <li>・社交×2</li> <li>・沖縄舞踊</li> </ul>	<p>(3) 伝統芸能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌舞伎×2</li> <li>・狂言</li> <li>・神楽など</li> <li>・和太鼓</li> </ul> <p>(5) 演芸</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・難病の就労についてテーマにしたコント等行っていきたい</li> <li>・落語×3</li> <li>・漫才×4、</li> <li>・お笑い系</li> <li>・和太鼓、邦楽、アンサンブル</li> <li>・歌、楽器演奏</li> <li>・利用者の方が鑑賞して楽しめればどんな内容でも構いません。</li> </ul>
<p>(7) 音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バンド活動</li> <li>・楽器演奏×18</li> <li>・歌×16</li> <li>・太鼓×5</li> <li>・和太鼓×4</li> <li>・フリージャズ</li> <li>・全般</li> <li>・軽音楽</li> <li>・音楽療法を受けていて、好きな子もいる</li> </ul>	<p>(8) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵などのアート、書道</li> <li>・利用者が興味をもってやりたいと思うものであればなんでも OK。</li> <li>・あまりレベルが高くなく、簡単に表現できるもの（こと）があれば何でも・・・。</li> <li>・視覚で楽しめるもの、体感できるもの、手話通訳や字幕など情報保障されたもの</li> <li>・舞台芸術に興味はあります。しかし、重度の多い生活看護で実践すると困難が予想されます。</li> <li>・あるでしょうが、それらに触れ合う機会に恵まれていないこと、自己発</li> </ul>



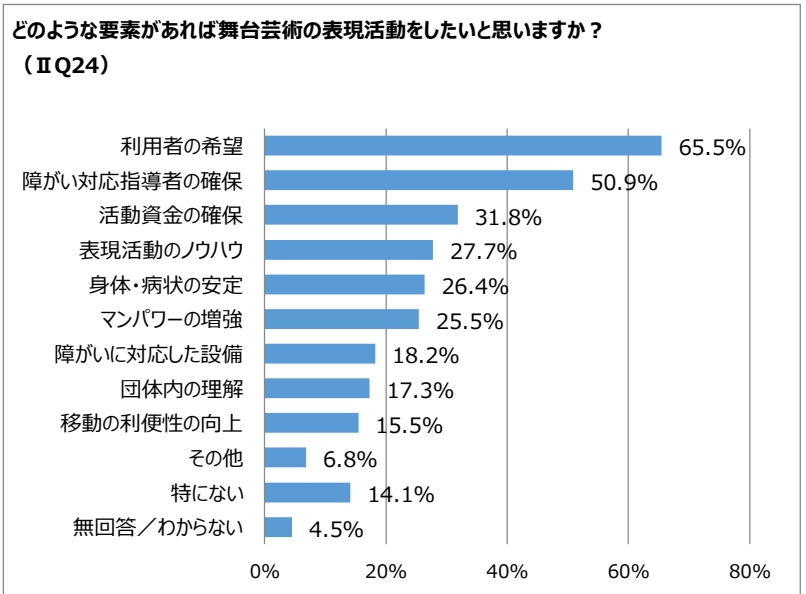
<ul style="list-style-type: none"> <li>・打楽器×2</li> <li>・音楽療法にて楽器演奏あり。それらの発表会的なイベントの開催</li> <li>・簡単なハンドベル演奏</li> <li>・ハンドベル</li> <li>・音楽療法</li> <li>・障がいの特性に合わせた楽器の合奏</li> <li>・サルサガムテープの楽器を用いて</li> <li>・利用者の方に（年齢層）合いそうなので</li> <li>・ロックバンド</li> <li>・音の出る物なら何でもおもしろそう</li> <li>・様々なもの</li> <li>・利用者の中に興味を持っている方がいる。</li> </ul>	<p>信力が弱いため、把握が難しいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵画</li> <li>・オペラ（個人的に）長時間は、むずかしそう</li> <li>・黒人霊歌</li> <li>・ストリートダンサーではありませんが、創作が出来る発表しやすい形があればと考えます。</li> </ul>
--	--

II Q24. どのような要素があれば舞台芸術の表現活動をしたいと思いませんか？（複数回答可）

施設職員が利用者の表現活動に取り組みきっかけは、利用者の希望が多いながらも、2位は障害に対応できる指導者確保となっている。利用者の希望に応じたいと同時に指導できる人材を外に求めていることがわかる。

	件	%
利用者の希望	144	65.5%
障がい対応指導者の確保	112	50.9%
活動資金の確保	70	31.8%
表現活動のノウハウ	61	27.7%
身体・病状の安定	58	26.4%
マンパワーの増強	56	25.5%
障がいに対応した設備	40	18.2%
団体内の理解	38	17.3%
移動の利便性の向上	34	15.5%
その他	15	6.8%
特にない	31	14.1%
無回答／わからない	6	2.7%

（有効回答数：220）



II Q24. その他 具体的に

<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の要望、HP上の顔写真掲載の有無、検討の際にはさらし物にする気かと反対多数</li> <li>・活動時間（練習する時間等）の確保 ・防音設備ある建物 ・利用者の意欲性の向上</li> <li>・指導者（障害に理解ある）のネットワークがほしい</li> <li>・児童生徒の自立と社会参加に向けた教育活動上、必要であると認められた場合</li> <li>・入荘されている方の希望、ニーズが必要</li> <li>・ふだんから舞台芸術の表現活動につながるような活動はしていません。メンバー個々に他のグループに参加している方はいます。</li> <li>・児童生徒の実態より、厳しいかと思われます。 ・手話通訳など情報保障がついているがどうか</li> <li>・緊急時の医療的対応 ・練習のため送迎方法の確保（人・手配館）</li> <li>・ムーブメント（持続的な社会作り）</li> <li>・訓練施設で通過施設のため、余暇活動の範疇での実施であり、そこまでの表現活動は考えていない。</li> </ul>
--



## II Q25. 障がいのある人の表現活動についての意見や希望などがあればお聞かせください。

- ・当施設の通所児の年齢が低いため、将来に向けての活動を、又教えていただきたいです。
- ・"私が日々接している障害者の方は、（今まで接したことのある方も含め）その表現方法は、時々私の発想外だったり。
- ・とてもナチュラルで「へえ～」と発表したり感動したりします。上記の時々と私が思うのは、私の発見がとばしいからで、もしかしたらもっともっといろいろな表現されていると思います。その表現、サイン、表出されているものを感じ取ったり、引き出せたり、チャッチできるスタッフよりまわりの人がいて、それを形にすることができれば、あすなる授産所も表現活動（舞台芸術での）ができるかと思います。
- ・アートのなことでは、表現活動を実行しています。
- ・エンターテインメント性を高めるためにプロジェクションマッピング等のテクノロジーを活かした舞台があれば集客、障がい者の舞台芸術の向上に役立つと思います。
- ・個人的に鑑賞したことはないが、ダンス、絵画、書等色んなジャンルで行なわれていることを心強く思っています。もう少し身近なものになれば・・・
- ・本人にとって表現活動がやりたいと思うなら取り組むべきである。だが、仕事の一つとしてするようなら考え直した方がよい。
- ・表現活動は幅広く、どれも魅力的です。障がいのある人が、あまり機会として触れることが少なく、またやりたい、参加したいと思うきっかけになることが必要だと思う。また、本人のがんばりだけでなく、環境や社会、地域が理解の歩みよりをするための整備、公的な保障等を充実してほしい。現状としては、環境整備は貧しいと思う。
- ・できる限り、本人から自発的活動である方がよい感じる
- ・ボランティア等で指導して下さる方がいれば取り組みたい。
- ・近年、非常に表現活動が盛んになり、自己表現、自己実現がされるようになったのは喜ばしい。趣味や余暇の時間をどう過ごすのかも関係することだと思う。ひとりひとりに支援者がいて、その人が、楽しく自己表現できる場の構築がされると、社会参加ができていと評価できるのではないだろうか。まずは、身近なところでサークル活動を組織し、発表できる大会を組織するようには・・・。
- ・表現することへの目標ができるので大変良いことだと思います。
- ・表現活動は主に絵を描く、形を造形するを中心に行っているの、舞台芸術には興味がないのが現状です。仕事から（木工、ガラス）造形は身近ですが、体操は月 1 回ダンスの先生にきてもらっていますが、日頃指導できるものはいません。各施設に合った表現活動をすればよいと思います。残念ながら我施設では、舞台芸術には近寄りたがたい印象です。ただ、東京パラリンピックに向けて、体操の先生が、ダンスパフォーマンスを考えてらっしゃるようです。参加できなくても「東京」は身近なので皆さん楽しみにしています。
- ・私たちの団体は、高齢者が多いので、表現活動に興味ある人は少ない。しかし、仲間内では、手話コーラス、フォークダンスなどを女性部活動の中でとり入れている。女性部活動では、日頃の練習の成果を披露したいと考えているようなので、そういう場を提供していただきたい。
- ・表現活動に興味関心のある利用者はいらるのと思うが、職員がノウハウを持っておらず、活動の中に時間を作り難い状況です。移動の問題が出てきますが、事業所外でサークルのようなものがあれば希望者も出てくるかもしれません。
- ・個々のご利用者様の能力を見出せないため専門的知識のある方の派遣やそれを継続していくための専門職の配置など、その施設やその利用者により対応できる人材がほしい。
- ・子ども達はとても音楽が好きです。上手にできなくてもリズムに合わせて身体を動かす事や友達と一緒にその場を共有する事で"楽しい!!"を実感し、日々を豊かに過ごせます。ディ活動の中で、週 1 回でもそんな場を作れ積み重ねられたら、次の発表する、見てもらえる等の段階に進んでいけると思いますが、その事が生きがいにつながると感じます。
- ・実際に活動されている方は、生き生きとしているので、どのように引き出すことができるのか、第一歩を踏み出すためのアドバイスがあったら良いと思います。
- ・子どもダンス教室（障がい児）を開いています。
- ・地域にメンバーが気軽に通いやすく楽しめる活動場所があるといいなあとと思います。
- ・障がい状態が様々な為、みんなで一つの事に取り組むのが困難な状況。
- ・時間外の活動になると思われる。
- ・勤務時間等、現状以上の負担を強いるのは、職員にとってとてもきびしいと考える。

- ・「やりたい」だけでは継続できない。
- ・当施設のように身体（肢体、聴覚、視覚）、知的、精神障害のある方に対応した芸術活動に対するノウハウがないため、多くの方が興味をもって参加できるものがあれば良いと思います。
- ・表現活動というよりも鑑賞し、感性を高めたい。
- ・生活介護の中で、夏祭り、クリスマス会などのイベント時にグループ発表を行うもの、舞台芸術だと考えています。イベント時に今後グループ発表を検討していきたいと思います。・各自治体に舞台芸術の社会資源の有無もあり、ハード、ソフト両面での有無が活動に影響されると思います。
- ・ダンスをなっている利用者が数名います。活動の中に取り入れても良いと思いますが、場所がないことで指導者がいないので、実際には難しいところ です。
- ・舞台に限らず、利用者の方が、歌や絵や書や工作や色々なツールで表現できる場（費用がかからず、手軽に）が欲しいです。すでにそのような場があるのであれば、それらを知らせてもらえる方法を（HP、メール、DM等）知りたいです。
- ・発表の機会
- ・まず、興味を持つ前に、芸術にふれることが必要ですが、なかなか機会がない。芸術にふれる機会を増せば、興味を持つ人も出てくると思うのですが…。ボランティアで色々な芸術を見せてくれる方がいれば、是非おねがいしたいです。
- ・表現の場や機会を増やし、多くの人の目に触れるようにしてほしい。
- ・障害の特性に応じて、楽器演奏や歌唱表現そしてダンスなどを表現すれば良いのではないかと？
- ・健康状態の厳しい方も多く、難しいと思います。外出が困難。
- ・障害の有無なしに表現活動は守られるものと考えます。現在のところ理解を得る為の活動が必要な段階です。
- ・施設で行なっている行事の中で、利用者の方からのご意見で手話付のコーラスをやりたいという要望があり行っています。毎日昼休みに練習を行い、本番後の表情は楽しそうで達成感もあるように見えます。当事者の方が楽しく達成感をもてるのであればどんな表現活動も良いのではないかと思います。
- ・表現活動の場を欲しているのは多く感じる。施設側は欲求の範囲を定め難く。

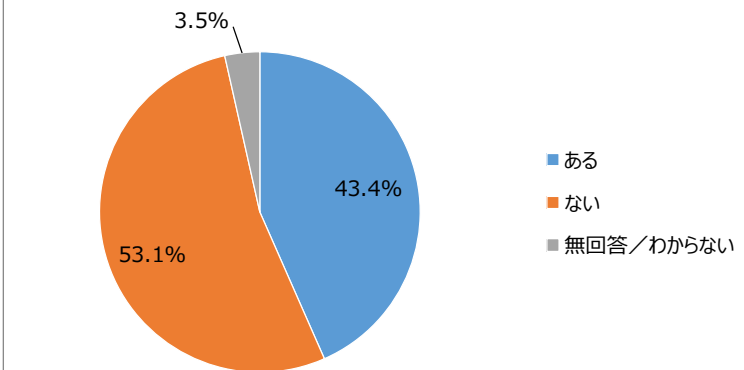
### Ⅲ 障がいのある人の舞台芸術の鑑賞活動について

#### ⅢQ1. 地域の劇場や文化施設に出向いて鑑賞したことはありますか？

	件	%
ある	148	43.4%
ない	181	53.1%
無回答／わからない	12	3.5%
合計	341	

（有効回答数：341）

地域の劇場や文化施設に出向いて鑑賞したことはありますか？  
（B福祉施設：ⅢQ1）

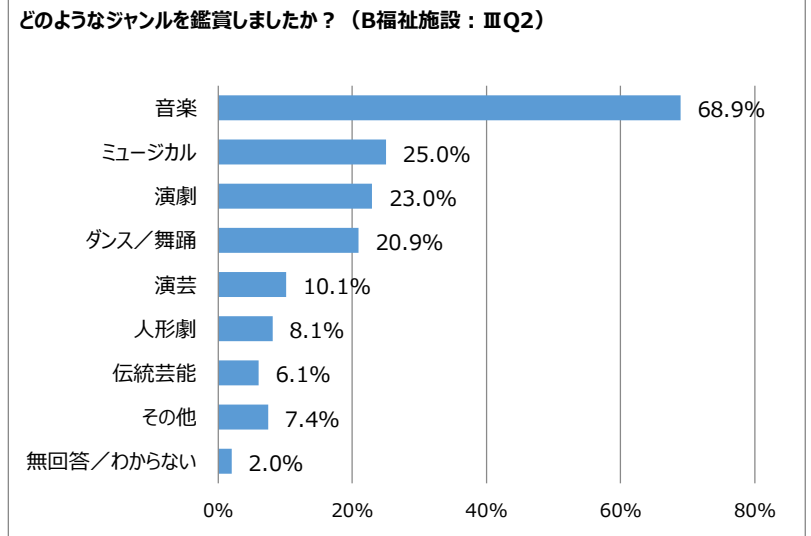


**ⅢQ1 地域の劇場や文化施設に出向いて鑑賞したことはありますか？で「ある」と回答した方に伺います**

**ⅢQ2. どのようなジャンルを鑑賞しましたか？（複数回答可）**

	件	%
音楽	102	68.9%
ミュージカル	37	25.0%
演劇	34	23.0%
ダンス/舞踊	31	20.9%
演芸	15	10.1%
人形劇	12	8.1%
伝統芸能	9	6.1%
その他	11	7.4%
無回答/わからない	1	0.7%

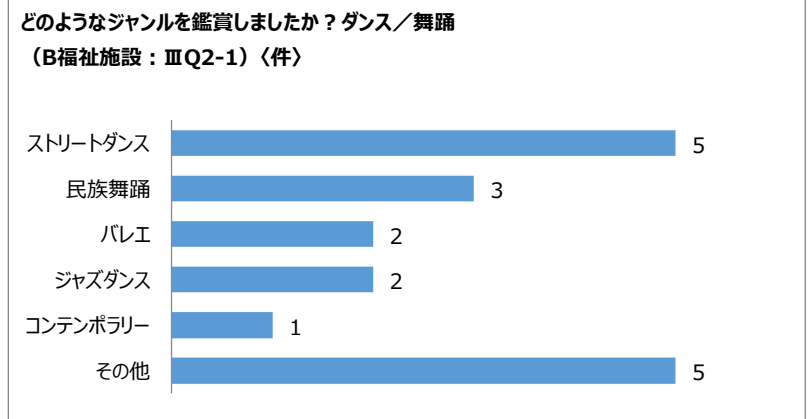
（有効回答数：148）



**ⅢQ2-1 ダンス/舞踊 内訳**

	件	%
ストリートダンス	5	16.1%
民族舞踊	3	9.7%
バレエ	2	6.5%
ジャズダンス	2	6.5%
コンテンポラリー	1	3.2%
その他	5	16.1%

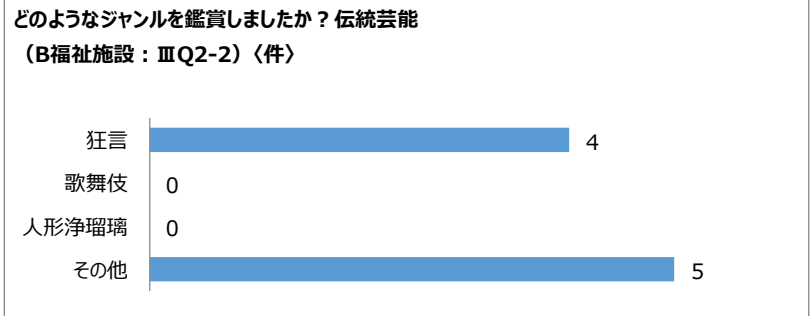
（有効回答数：31）



**ⅢQ2-2. 伝統芸能 内訳**

	件	%
狂言	4	44.4%
歌舞伎	0	0.0%
人形浄瑠璃	0	0.0%
その他	5	55.6%

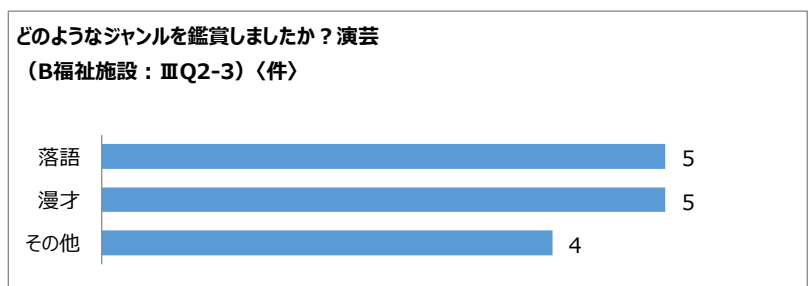
（有効回答数：9）



**ⅢQ2-3. 演芸 内訳**

	件	%
落語	5	33.3%
漫才	5	33.3%
その他	4	26.7%

（有効回答数：15）

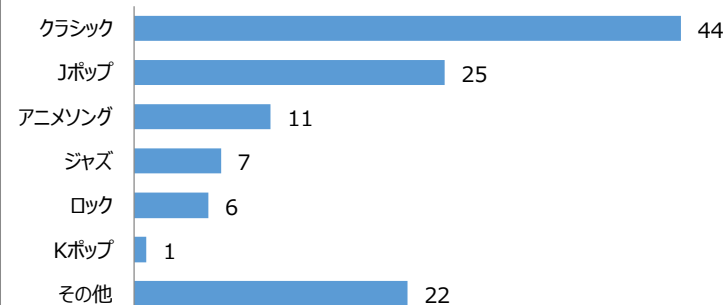


ⅢQ2-4. 音楽 内訳

	件	%
クラシック	44	43.1%
Jポップ	25	24.5%
アニメソング	11	10.8%
ジャズ	7	6.9%
ロック	6	5.9%
Kポップ	1	1.0%
その他	22	21.6%

（有効回答数：102）

どのようなジャンルを鑑賞しましたか？音楽  
（B福祉施設：ⅢQ2-4）〈件〉



ⅢQ2. 鑑賞したジャンル 具体的に

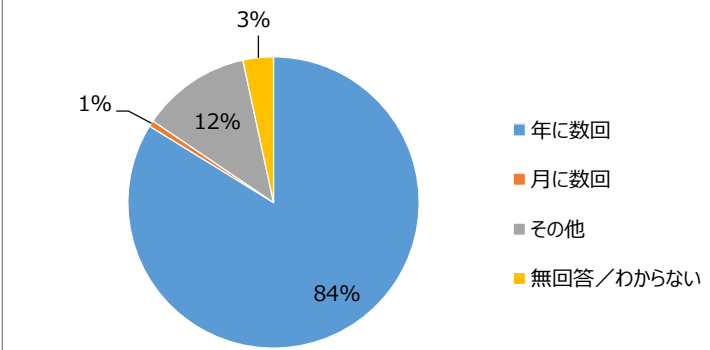
<p>(1) ダンス／舞踊</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創作ダンス</li> <li>・よさこい</li> <li>・簡単なもの</li> <li>・車イスダンス</li> <li>・フラダンス</li> </ul> <p>(3) 伝統芸能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和太鼓演奏会</li> <li>・備中神楽</li> <li>・民謡</li> <li>・だんじり祭</li> <li>・能楽</li> </ul> <p>(5) 演芸</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マジック、大道芸</li> <li>・ビッグ・アイ（アートプロジェクト）</li> <li>・社会風刺コント</li> <li>・寄席</li> </ul> <p>(7) 音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オペラ</li> <li>・新垣勉コンサート</li> <li>・演歌</li> <li>・日本太鼓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギター、ソロ、民謡</li> <li>・おかしんといつしょ</li> <li>・ブラスバンド</li> <li>・民族楽器</li> <li>・高校生の吹奏楽</li> <li>・歌のお兄さんコンサート、障がい児のO Kのコンサート</li> <li>・兵庫県障害者芸術文化祭等</li> <li>・歌謡曲</li> <li>・合唱</li> <li>・民族楽器とダンス</li> <li>・和太鼓×2</li> <li>・吹奏楽×2</li> <li>・邦楽</li> <li>・オーストラリア、童謡</li> <li>・演歌×2</li> <li>・わたぼうしコンサート</li> </ul> <p>(8) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映画×3</li> <li>・サーカス×7件</li> <li>・作品展等</li> <li>・手話狂言</li> <li>・サイレントコメディ</li> </ul>
--	---

ⅢQ3. 2015年度に、何回鑑賞に行きましたか？

	件	%
年に数回	124	83.8%
月に数回	1	0.7%
毎日	0	0.0%
週に4~6回	0	0.0%
週に2~3回	0	0.0%
週に1回	0	0.0%
その他	18	12.2%
無回答／わからない	5	3.4%
合計	148	

（有効回答数：148）

2015年度に、何回鑑賞に行きましたか？（B福祉施設：ⅢQ3）



ⅢQ3. その他 具体的に

・0回（15件） ・数年に1回 ・2年に1回のペースで実施。2016年に1度参加。

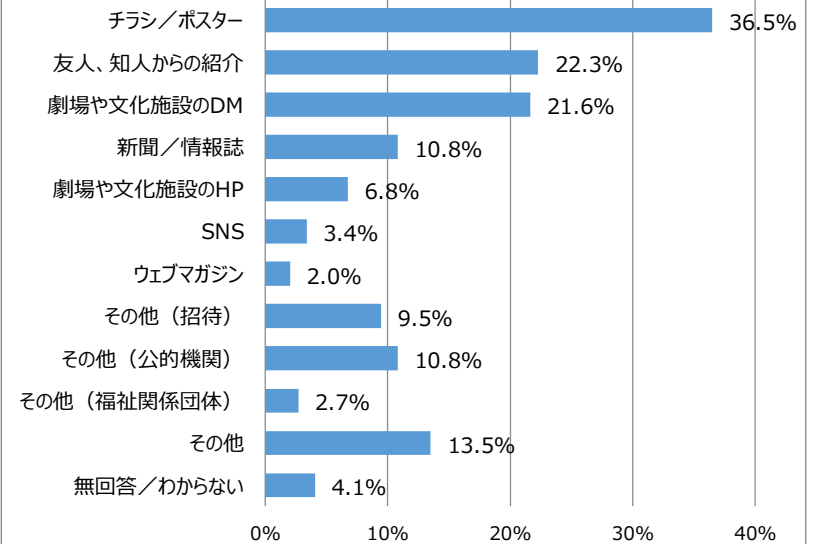
ⅢQ4. 公演の情報は何で知りましたか？（複数回答可）

情報をキャッチするのは、SNSやウェブマガジンなどのネット環境ではなく、チラシやDMなど、紙媒体、アナログ媒体が多い。社会の中で主流となっているネット媒体よりも直接的に情報を届けることが必要とされている。

	件	%
チラシ／ポスター	54	36.5%
友人、知人からの紹介	33	22.3%
劇場や文化施設のDM	32	21.6%
新聞／情報誌	16	10.8%
劇場や文化施設のHP	10	6.8%
SNS	5	3.4%
ウェブマガジン	3	2.0%
その他※（招待）	14	9.5%
その他※（公的機関）	16	10.8%
その他※（福祉関係団体）	4	2.7%
その他	20	13.5%
無回答／わからない	6	4.1%

※その他「具体的に」に記述でみられた「招待」「公的機関」「福祉関係団体」に該当するとされる回答を別途項目をたて、表記した

公演の情報は何で知りましたか？（B福祉施設：ⅢQ4）



ⅢQ4. その他 具体的に

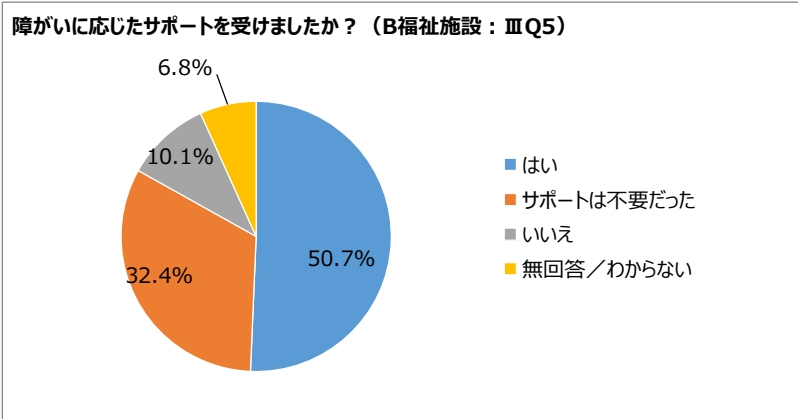
- ・チケットの寄贈 ・交流相手の高校 ・市から連絡 ・苑に招待状が来る。講師からの紹介
- ・ご招待、ご案内 ・東京善意銀行 ・当施設主催の寄席及びコンサート ・福祉関連の情報
- ・利用者さんの外出計画にあわせて、職員が探す ・福岡県教育庁の事業
- ・兵庫県は全県の中 1 生対象にクラシック音楽鑑賞の場を設けている ・市の広報 ・招待
- ・案内文書 ・電話 ・旅行会社通じて ・同法人で行っている行事
- ・公演をしている団体に直接招待してもらった。 ・障がい施設加盟の協会 ・学校からの問い合わせ
- ・府教育委員会より連絡、案内 ・任意団体の招待 ・毎年のことなので ・市教委からの連絡
- ・市町村の情報提供 ・県教育委員会、県文化振興財団から案内 ・文化施設の営業の方の紹介
- ・案内 ・大阪教育庁からの通知 ・香川県障害福祉課からの招待 ・学校行事
- ・企業や福祉団体からの招待 ・関係団体より ・毎年の活動なので年間計画で実施することになっている
- ・福祉関係者 ・同施設(法人内) より ・ネット検索 ・札幌市教育委員会からの案内
- ・案内文書 ・招待など ・演者の方よりのご招待 ・学校行事 ・インターネットで検索
- ・共生マラソン会場 ・自分たちで行なっているので ・招待（団体）
- ・近隣の施設で集り、2 年に一度実施している。 ・招待 ・招待 ・当法人で主催して実施
- ・阿倍野作業連絡会の情報

ⅢQ5. 地域の劇場や文化施設を利用したとき、障がいに応じたサポートは受けましたか？

サポートを受けたという回答が半数を超えているが、具体的にどのようなサポートかという問では、車いす席や障害者用トイレ、駐車場の確保など、ハード面、設備に関する回答が多かった。反面、欲しかったサポートでは、わかりやすい表示、字幕、劇場、文化施設側の職員の増員など、人やソフトに対する要望が多いのが特徴的である。また、劇場、文化施設でスタッフが対応できなかったことについても車いすだけに限らず、様々な障害に応じた対応が必要とされている。

	件	%
はい	75	50.7%
サポートは不要だった	48	32.4%
いいえ	15	10.1%
無回答／わからない	10	6.8%
合計	148	

(有効回答数：148)



ⅢQ5-1. 「はい」 具体的に

- ・車椅子の提供 ・席への案内 ・車イス介助の手伝い ・座席割を前の方にしてもらった ・駐車場
- ・車いす移動の補助、場所の確保など ・誘導と席を前列にいただいた ・車椅子の補助
- ・車イスの用意 ・サポート要員の配置 ・車椅子用の席を予約
- ・前に指定席を用意していただいた。入場順を配慮していただいた。 ・休憩時間が長めに設定される
- ・手話通訳 ・座席の配慮 ・施設で参加した為、職員から支援をうけた
- ・車イススペースを作ってもらった。ガイドスタッフが案内してくれた。 ・席の確保等をサポートしてもらえた。
- ・車イスやトイレの配慮 ・座席の配慮 ・車イス利用の方の席の確保
- ・鑑賞場所を事前に打ち合わせを行う ・防音室の利用、出入口に近い席の確保
- ・場所（車椅子）の案内 ・席を一番前にしてもらった。 ・車イス席の確保や移動の際の介助

- ・劇場の席を扉の横にしてもらった。（途中でトイレと叫んだり、落ちつきがなくなって退席する場合があるので）
- ・手話通訳 ・車イス席の確保、車イス駐車場の確保
- ・座席の位置を出入口近くにしていただいたり、入退場の順番を配慮頂いた。
- ・車椅子席確保、大声をだしてもOKの許可 ・車イス利用者の誘導、落ちつかない生徒の移動
- ・座席や入退場など ・障害者の確保、出入りしやすい場所の確保 ・利用しやすい座席の確保
- ・できるだけ鑑賞しやすい場所の設定（視覚、聴覚、段差など）
- ・車イスから座席に移乗した時に、体を起こしておけるようにクッションを貸してもらえた、車イスでも会場に入れるようスペース（1 番後ろの席のみ対応だった）をあけてもらった。 ・鑑賞場だけの配慮 ・弱視生徒がいたので、座席を前方にしてもらった。車イス生徒の誘導
- ・車いすスペースで鑑賞できた。出入口に近く、緊急時に出退場しやすい位置だった。
- ・救護室を排泄オムツ交換スペースとして借用することができた。 ・車椅子席の確保
- ・車椅子用の席確保、観覧無料（招待）等 ・開場前に入場できた ・座席、出演の順番等
- ・着替え室用意してもらった。 ・車椅子席の準備 ・会場において専用の席を確保してもらおうボランティア協力
- ・トイレや休憩場所の提供、バス駐車停車場 ・障害者席がある ・無料、割引 ・車イスや歩行困難な方の座る場所等
- ・車イススペースの確保 ・無料の招待だった ・車いす席の確保、医療機器を使用するための電源確保、休憩場所
- ・車いす移動のサポート ・介助など ・トイレ、休憩場などの確認 ・座席の確保
- ・演目途中の出入り、車イス席、座席配置 ・車イス席、バリアフリー ・車イス専用席の準備
- ・先の確保、誘導 ・リフト使用、イスをはずして車イス ・座席位置（トイレ近く）
- ・乗降場所の確保など ・無料招待 ・マイクロバスの駐車位置や車イス席への誘導
- ・車イス用席の設置と確保 ・駐車場が近くあった

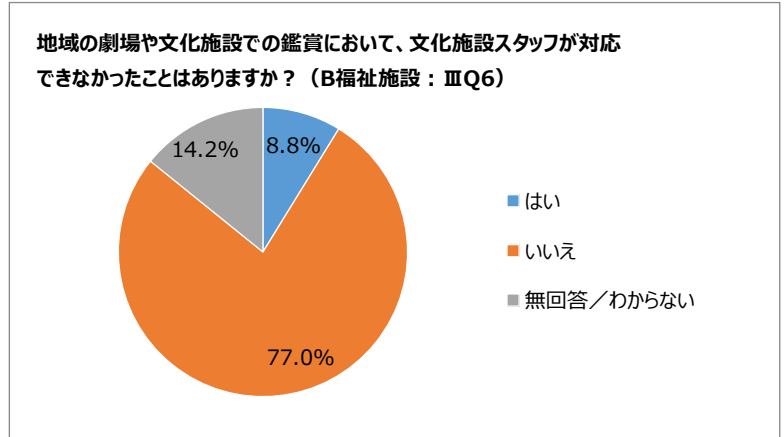
### ⅢQ5-2. 「いいえ」 欲しかったサポートを具体的に

- ・座席の位置
- ・入場口が複数ある場合、段差を通過しないと客席に行くことができない。この入口は段差なく客席に行くことができると、わかりやすい表示があれば、通路を選ぶことができよかった。
- ・職員配置を増やして、サポートがなくても実施できるように工夫している。
- ・すべての音声を手話もしくは文字に変えて、聴覚障害者でも楽しめるような環境整備をしてほしい。
- ・車イス用の席でなくてよいが、段差なしで移動できる席の枠を設けてほしい。
- ・車イスのサポート、トイレ介助など ・観客が立ち上がると車イス利用者の目線では見えなくなってしまう。

### ⅢQ6. 地域の劇場や文化施設での鑑賞において、文化施設スタッフが対応できなかったことはありますか？

	件	%
はい	13	8.8%
いいえ	114	77.0%
無回答／わからない	21	14.2%
合計	148	

（有効回答数：148）





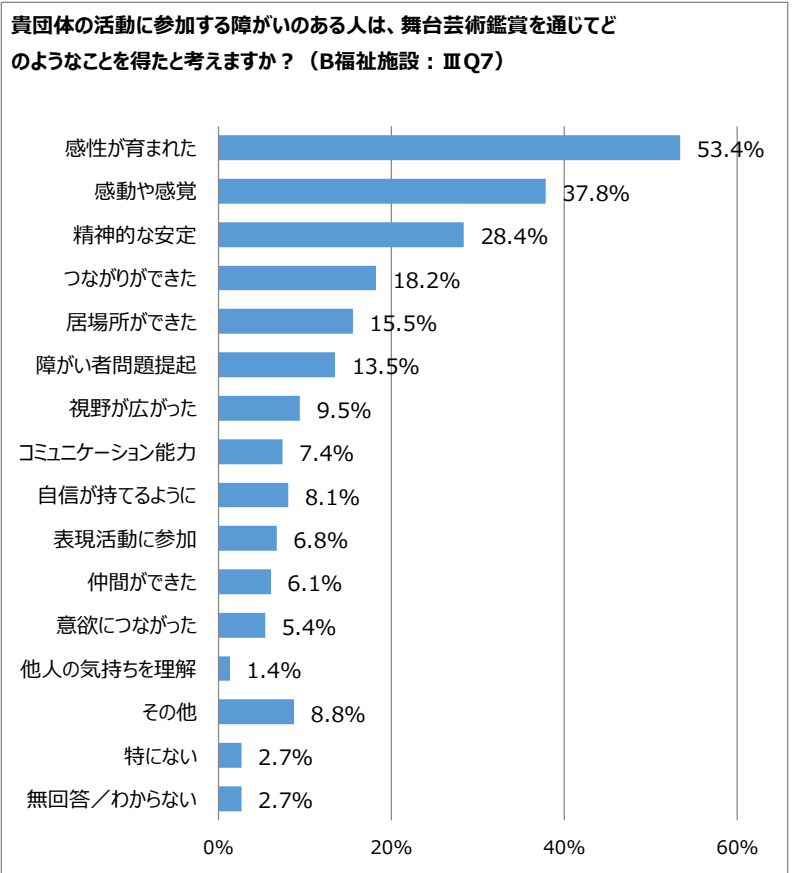
ⅢQ6-1. 「ある」 具体的に

- ・E Vで待たされる・特別な場所なので知らないスタッフもいた。視覚障害の方が単独で行った時に、車いすにのせられそうになった。補助犬が複数いて(座席がランダムだった) 少し混乱した
- ・トイレの確保(誰でもトイレを優先的に使用できず一般の方が使用していた) ・文字情報
- ・聴覚障害者でもわかる案内を求めたが、そのあたりは「できない」と謝りながら言ってきたこともあります。
- ・席までの案内 ・施設のバリアフリー対応 ・駐車場の確保をしてもらう予定だったが、してもらえなかった。
- ・車イスサポート、トイレ介助など ・施設が物理的に困難な対応ではできない。人的には大変協力的。
- ・車イスでは見にくい位置を指定された ・コンサートで声が出てしまった時に、退席せざるを得なかった。
- ・車いすの取り扱いに慣れていないこともあり、施設職員が対応した。

ⅢQ7. 貴団体の活動に参加する障がいのある人は、舞台芸術鑑賞を通じてどのようなことを得たと考えますか？（3 つまで回答可）

	件	%
感性が育まれた	79	53.4%
感動や感覚	56	37.8%
精神的な安定	42	28.4%
つながりができた	27	18.2%
居場所ができた	23	15.5%
障がい者問題提起	20	13.5%
視野が広がった	14	9.5%
コミュニケーション能力	11	7.4%
自信が持てるように	12	8.1%
表現活動に参加	10	6.8%
仲間ができた	9	6.1%
意欲につながった	8	5.4%
他人の気持ちを理解	2	1.4%
その他	13	8.8%
特にない	4	2.7%
無回答／わからない	4	2.7%

(有効回答数：148 ただし11件が3つ以上回答)



ⅢQ7. その他 具体的に

- ・気分転換 ・あこがれ、目標、逆して自信がなくなる ・充実した生活や楽しい時間
- ・吸収はしていると思うが、具体的な変化は見られない。 ・生活を豊かにするための選択肢が増えた
- ・楽しんでいた ・一緒に見た人と思い出が作れた。話題が生まれ、関係性が少し変わったように感じる。
- ・外部との接触、社会的なつながりを持てる ・利用者の笑顔があった。 ・外出の機会
- ・余暇時間の充実 ・楽しみができた ・地域資源を知ることができた

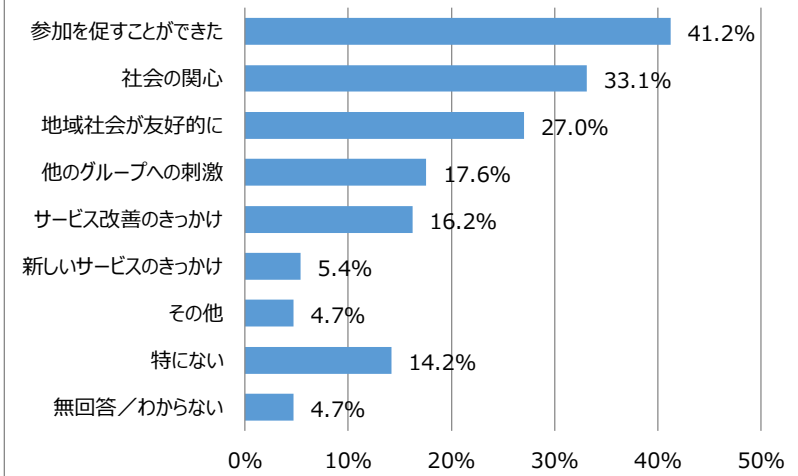


ⅢQ8. 貴団体が行う障がいのある人の舞台芸術鑑賞は、社会的にどのような効果を生んだと考えますか？（3つまで回答可）

	件	%
参加を促すことができた	61	41.2%
社会の関心	49	33.1%
地域社会が友好的に	40	27.0%
他のグループへの刺激	26	17.6%
サービス改善のきっかけ	24	16.2%
新しいサービスのきっかけ	8	5.4%
その他	7	4.7%
特にない	21	14.2%
無回答／わからない	7	4.7%

（有効回答数：148 ただし1件が3つ以上回答）

貴団体が行う障がいのある人の舞台芸術鑑賞は、社会的にどのような効果を生んだと考えますか？（B福祉施設：ⅢQ8）



ⅢQ8. その他 具体的に

- ・障害者が参加するための支援について知ってもらえた
- ・(3)や(4) まではいかないが、知るきっかけとなった。問題提起になった。 ・価値観の変化を生んだ
- ・新たな社会体験 ・障害に関わらず楽しみの提供支援へ取り組みきっかけとなった。
- ・地域の方とつながりができた

ⅢQ9. 地域の劇場や文化施設で、どのような対応があれば利用しやすくなりますか？

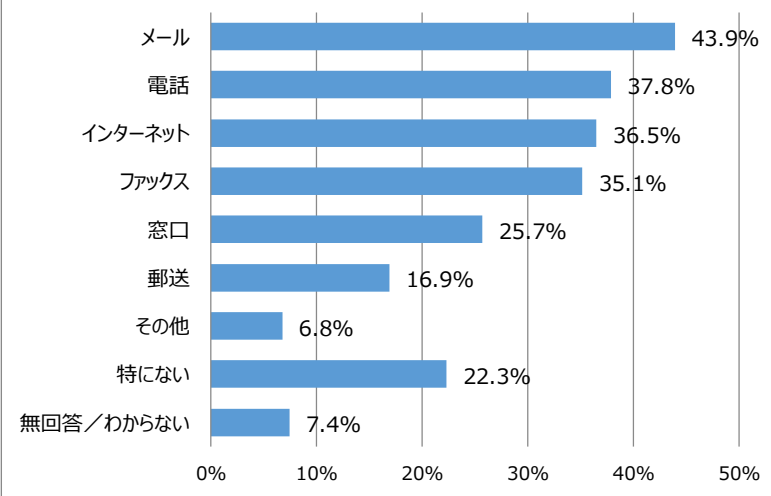
表現活動と同じで情報をキャッチするのは、SNSやウェブマガジンなどのネット環境ではなく、チラシやDMなど、紙媒体、アナログ媒体が多いが、鑑賞に関しては、インターネットの割合も多い。これは、公演チケットの購入がチケット販売サイトからとなる公演が多いことや比較的簡単に購入作業ができるからだと考えられる。

ⅢQ9-1. 申し込み方法（複数回答可）

	件	%
メール	65	43.9%
電話	56	37.8%
インターネット	54	36.5%
ファックス	52	35.1%
窓口	38	25.7%
郵送	25	16.9%
その他	10	6.8%
特にない	33	22.3%
無回答／わからない	11	7.4%
合計	344	

（有効回答数：148）

地域の劇場や文化施設で、どのような対応があれば利用しやすくなりますか？申し込み方法（B福祉施設：ⅢQ9-1）



### ⅢQ9-1. その他 具体的に

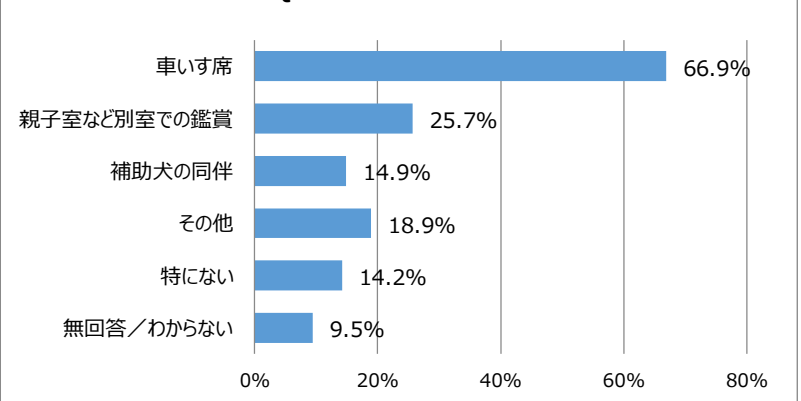
- ・施設に宣伝を積極的に行う ・手話通訳、筆談
- ・車イス介助者の席に隣に確保できるようになれば良い。（申し込み時に確保できるかが介助者 1 名のみの為、付添いが困難な時がある。）
- ・大型ホール等何日も前から（日を取るため）並ばなければならない点について、営利活動ではないので配慮してほしい
- ・今までと同じようにきめこまかく相談して ・広告等や時間、曜日など
- ・料金。車椅子の方は、S 席料金のみであった。 ・見やすい、ほしい情報へいきつきやすい仕組み
- ・点字対応

### ⅢQ9-2. 会場

	件	%
車いす席	99	66.9%
親子室など別室での鑑賞	38	25.7%
補助犬の同伴	22	14.9%
その他	28	18.9%
特にない	21	14.2%
無回答／わからない	14	9.5%
合計	222	

（有効回答数：148）

地域の劇場や文化施設で、どのような対応があれば利用しやすくなりますか？会場（B福祉施設：ⅢQ9-2）



### ⅢQ9-2. その他 具体的に

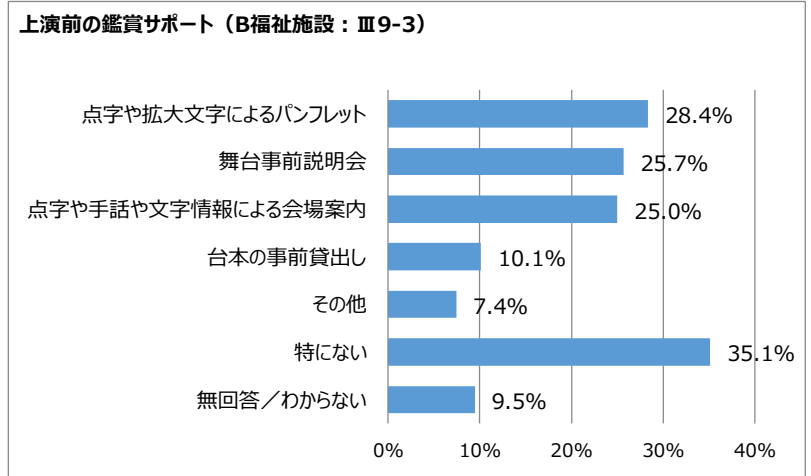
- ・障がい特性に応じた席の配慮 ・座席の確保、座る位置
- ・体格の良い方や行動障害の方のための少し座席と間があいているようなタテにゆったりとした座席
- ・席まで誘導 ・使いやすい場所にトイレがある良い ・出入口に近い座席の確保
- ・手話通訳や文字情報が見やすい場所への配慮 ・磁気ループ ・付添い者の席の確保
- ・大きな声を出す方も気がねなく見られる場 ・後部座席がみにくいため別モニター（別スクリーン）の設置
- ・声の出る人がいるので他の人の迷惑にならないように
- ・車イスではないが、段差の移動などが困難な方のための席
- ・車イスに長時間乗ってられない方がいるので、フロア横になって鑑賞できればいいと思う。
- ・休憩室があると疲れた生徒が休める
- ・車イスを利用することができ、緊急時も出入口に近く、安心して利用することができた。
- ・手話・要約筆記等の支援 ・段差にある箇所の照明・注意喚起・トイレ案内
- ・バリアフリー化、他目的トイレの設置
- ・大人が横になれる位のベッドが設置されている。（オムツ交換用の身障者トイレ）
- ・トイレ（ベッド付き）
- ・舞台鑑賞が好きな利用者でも、声を出したり、座ってられない課題があります。すべての舞台芸術に配慮を求めるわけではありませんが、親子連れのクラシックコンサートでさえ、批判の対象となる中、劇場文化施設側の対応だけに止まらず、一般鑑賞者側の許容への啓蒙が一番大きな課題でないでしょうか。
- ・車イス用トイレ、車イスの方の介助者用の座席 ・利用しやすい個室
- ・段差がなく移動がスムーズにできること、車イス可能なトイレが広く数多くあること
- ・照明及び案内板（トイレ、フロア（休憩所）等） ・バリアフリー、車イス用トイレなど広めのトイレ ・移動支援スタッフの増員

ⅢQ9-3. 上演前の鑑賞サポート（複数回答可）

パンフレット、舞台説明会など、開演前の情報収集を求める回答が多い。上演中に関しても、字幕や副音声ガイドなど、情報に関するサポートが多く、情報の受け取りや理解を促す配慮が求められている。

	件	%
点字や拡大文字によるパンフレット	42	28.4%
舞台事前説明会	38	25.7%
点字や手話や文字情報による会場案内	37	25.0%
台本の事前貸出し	15	10.1%
その他	11	7.4%
特になし	52	35.1%
無回答／わからない	14	9.5%

（有効回答数：148）



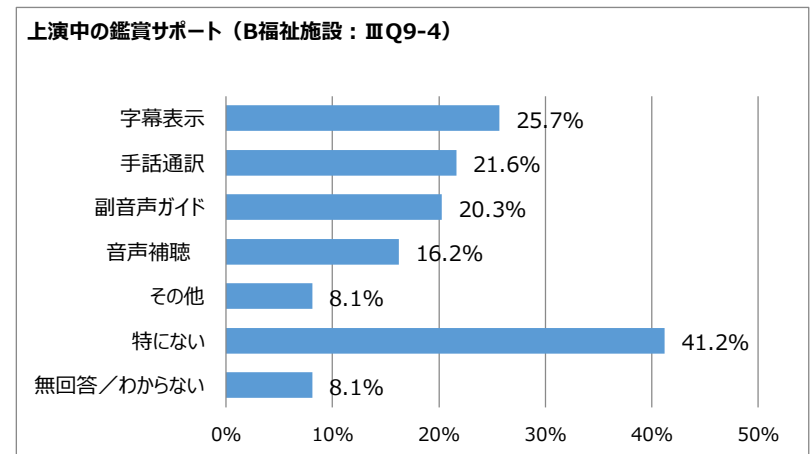
ⅢQ9-3. その他 具体的に

- ・ポスター、プロフィール版などに文字や写真で紹介してあるが、実物（例えば楽器や衣装、装置など）できる範囲で展示してあると理解できる方もいる
- ・照明、音量、演出効果などの情報提供 ・一般のお客様に対する対応
- ・事前説明会でダメな事を教えてほしい。大声、ウロウロを許すか（少しなら）、拍手、（喜んで）
- ・音量等の説明
- ・インターネットであらすじ等の情報を事前に入手でき、事前学習でイラストや歌をとり入れた活動をする事ができた。
- ・映像・スライド等による弱視的な支援 ・車イストイレの拡充
- ・設備に関する説明（会場案内）トイレ、P、段差など。 ・ネットなどで事前に上演内容が解ること

ⅢQ9-4. 上演中の鑑賞サポート（複数回答可）

	件	%
字幕表示	38	25.7%
手話通訳	32	21.6%
副音声ガイド	30	20.3%
音声補聴	24	16.2%
その他	12	8.1%
特になし	61	41.2%
無回答／わからない	12	8.1%

（有効回答数：148）



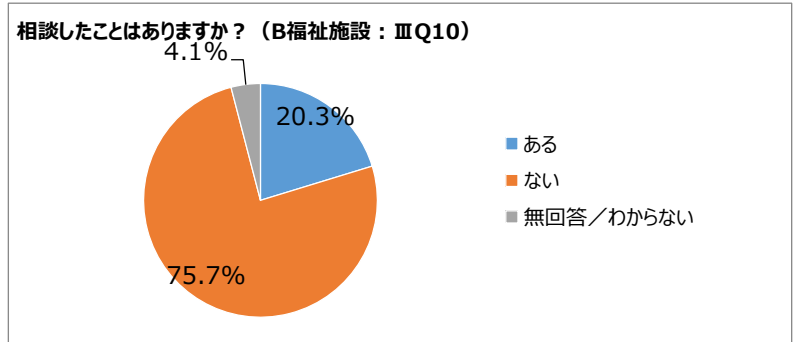
ⅢQ9-4. その他 具体的に

- ・トイレ等の誘導 ・休憩時間の分かりやすい表示 ・大きな声を出し始めたらすぐ退席できる
- ・状態に応じて出入りしやすい場所での鑑賞 ・弱視の方の為に前の方の席が確保できるとありがたい。
- ・磁気ループ ・暗さ、音の大きさ ・興奮を静める場所
- ・鑑賞していた席の近くに係員が常時おら、何かの折には声をかけてくださるなど気にかけて下さったのが有難かった。
- ・映像やスライド等の視覚的な支援・援助 ・体調不良時の緊急サポート ・舞台が見えるような配慮

ⅢQ10. 地域の劇場や文化施設での鑑賞に関して、相談したことはありますか？

	件	%
ある	30	20.3%
ない	112	75.7%
無回答／わからない	6	4.1%
合計	148	

（有効回答数：148）



ⅢQ10-1. 「ある」相談場所（人）と相談内容を具体的に

- ・文化施設の職員 入場に際して、入場者の制限 ・車椅子席の有無、身障トイレの有無
- ・車イス対応の席数とどれだけ確保できるか ・手話通訳を付けて欲しい。
- ・バリアフリー始めサポートの有無 ・バリアフリー始めサポートの有無
- ・文化施設と車いすスペース(鑑賞しやすい場所) について
- ・相談ではないが、車椅子でも大丈夫か心配なので確認してしまう。 ・参加人数、鑑賞場所
- ・楽団事務局長に、障害者団体が一般のお客様と一緒に鑑賞できるかどうか ・車椅子の不可
- ・その公演をきいて静かなものなのかどうか。途中で退席する場合もあるため、席を端（扉の横）にしてほしいなど。
- ・車椅子の席について、前の行事について、利用者の声について
- ・身障者用のバギーが車椅子ほど知られていないので、その説明を求められる事が多くあった。
- ・スタッフ、座席の場所、トイレ、リフトなど ・会場事務局、市役所
- ・担当の方（営業の方）に、音や光具合、見やすい座席位置、トイレの位置、いざというときの休憩室
- ・支配人：障害で反射的に大きな声ででしてしまう方がいるが、一般の方と一緒に鑑賞できるかどうか
- ・車イス対応かどうか
- ・これまで回答したところは、別の施設ですが、階段を利用しないと鑑賞できないところがあり、職員の方が車いすの昇降を手伝ってくれた。
- ・施設長や職員に聞いて混乱を招くことなく利用者さんが楽しめる方法、手段の相談
- ・近隣の学校と行う合同演奏会に向けて、担当者や運営や楽器管理について ・車いす席の有無 ・トイレ、水分、休憩場所
- ・文化施設の方と会場の出入口について（混雑状況）、休憩場所について、車いすの大きさについて
- ・札幌交響団やP M F など
- ・意図せぬ発声があることを事前に伝えておいた→親子用の狭いスペースしかなく、車椅子では入れなかったが・・・
- ・車椅子での鑑賞設備、会場配置（設備） ・バスの停車について ・車イスで入れるか（通路、席など）

ⅢQ10-2. 「ない」相談しなかった理由があれば具体的に

- ・特に不自由さはない ・特になし ・障がいがあるといったことを言っていないが
- ・担当との打合せで済んだため
- ・ご招待していただくことが多いので、言いにくい・また点字・手話などのご用意下さっても理解できない（読めない方）もいるので
- ・それほど切迫した問題ではなかった ・市内の劇場(音楽ホール) は、使い慣れているので、車椅子の人にも慣れている。
- ・利用者様からの要望がなかったため ・年1 回程度の鑑賞だから
- ・事前に限定的な利用をすすめられた（立席しない、奇声をあげない等） ・鑑賞に関して情報不足
- ・それ程、鑑賞する機会がなかった為 ・施設の状況がわかっている。
- ・先方から案内をいただいて実施することが多いから

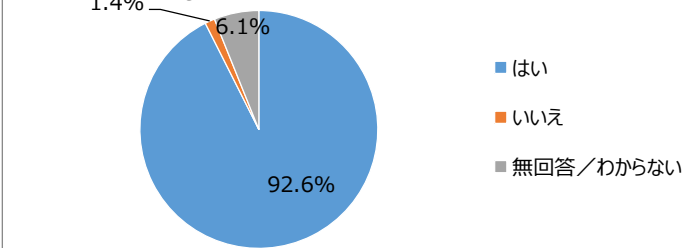
## ⅢQ11. 今後も地域の劇場や文化施設で鑑賞したいですか？

	件	%
はい	137	92.6%
いいえ	2	1.4%
無回答／わからない	9	6.1%
合計	148	

(有効回答数：148)

## 今後も地域の劇場や文化施設で鑑賞したいですか？

(B福祉施設：ⅢQ11)



## ⅢQ12. 地域の劇場や文化施設に対して意見や希望などがあればお聞かせください。

- ・鑑賞しやすい環境づくり
- ・その団体以外の人が入りにくい様子があると聞く
- ・知的・発達障害で、ゆっくり座ってられない興奮するなどあるとためらいます。また、トイレや食事など付随することも考えると、外出の場としてはかなりハードルが高いです。ある視覚支援学校では、オペラ鑑賞に向け、事前に校内で(音楽科で) イタリア語の歌詞の意味を調べたり、有名な台詞や歌(メロディー)を聞くなどするプログラムをもっておられました。「初心者への為」講座を無料(安価)で劇場が聞いてくださること良いですね
- ・全ての障がい者にこれ以上ないほどのサポートをしてほしい訳ではないんです。マニュアル通りのサポートではなくて当事者の声を聞いてサポートにあたってほしいです。障がい者が自分の事を知ってもらう数少ない場として芸術表現などの方法はなくてはならないものです。地域の施設には、ご理解とご協力をお願いします。
- ・昨年、地域の文化施設が閉館してしまい、場所がないことで催物のある機会が減ってしまったことは残念。また、文化施設をつかった発表の機会も同時に減っているので、地域に身近に文化行事や舞台芸術に触れる環境を充実してほしいです。より、バリアフリーをすすめてほしいです。誰もがつかいやすいことは、みんなによいことです。
- ・演奏中の手話通訳や文字情報があれば、聴覚に障害がある人も楽しむことができる。
- ・車イス用の配慮してほしい
- ・ステージにあがるためのエレベーターの設置など、改善してくれている点は多々ある。車椅子席が、席の一番後方なので、毎回見る場所が決まってしまう。欲を言うならもう少し前でみられたらと願うが、改築にかなりの費用と手間がかかりそうで……。その劇場の構造によっても異なるのでは？
- ・今の処、参加、鑑賞できることに感謝しています
- ・今回の鑑賞に対し、楽団側は大変好意的に受けとめていただき、配慮していただいた。鑑賞中に声が出たり、動きある利用者がいらっしや、一般のお客様よりホール側にクレームもあったようだが、「たくさんの方に聞いていただきたい」と伝えていただいたよう。本当にありがたく思いました。
- ・障がいの方も自由に選択、決定できる様なシステム作り。細かな事も相談しやすいサポート作り。
- ・車イス席があまりなかったりするので、増やしてほしい。バリアフリーになれば助かると思います。上演中、叫んだりする方がおられるので、その場合、外で待ったりしないといけなので別室などで鑑賞できる場所があれば、とてもうれしいです。一般の方と一緒に鑑賞する場合は、とても気を遣います。もっと障がいのある方の理解があればなとも思います。(みなさん、お金を払って来ているので気持ちは分からなくないですが……。やっぱり行きにくいと感じてしまいます。劇場で販売など(お菓子などの販売)があれば事前に情報がほしいです。
- ・公共の場では、静かにする事等、教育はしていますが、嬉しくて、拍手、声を出す事は、止められない事もあり、ゆるやかなルールで参加できるものが欲しい。クラシック等も鑑賞させたいが、子どもクラシック等、小さい子、障害児もOKなコンサート等がほしい。
- ・障がいの関係で大きな音に過敏に反応する方がいるので、その点を考慮していただけるとありがたいです。
- ・視覚障害の生徒にとっては、副音声、体験的活動(いっしょに歌う、踊る、楽器を触る)があるとより鑑賞を楽しめると思います。
- ・車イス、またはストレッチャー利用者の送迎サービスがあれば、人手不足のなか、運転手分だけでも大変助かります。
- ①完全バリアフリー(特に階段があるところは不便)にしてほしい。②排泄オムツの交換のためベッドがあるトイレを設置してほしい。③救護室



等専有使用できるスペースがあれば有難いです。

- ・利用させて頂く地域の劇場や文化施設で働かれている方々が障がい者の方をあたたかく笑顔で迎えてほしい。車椅子トイレ数の増大や更なるバリアフリーの向上も願っている。
- ・車椅子で参加の利用の方が多いので、車椅子の方の専用の通路や車椅子のまま鑑賞できるスペースを多く設けていただくことで、スムーズに移動でき、楽に鑑賞できると思います。 ・特になし
- ・車椅子対応。駐車場近場での確保（施設に隣接する）
- ・エレベーターと大人がオムツを換えて横になれるベッドのあるトイレの設置
- ・知的障害者の人たちは、施設のハード面についての要望はほとんどないが、鑑賞が、必ずしも静かにできるわけではない。一般の方とは別で場を設けることは違うと思うが、かつといってやはり「静かに」というのは、最低限のマナーやルールでもあると思う。障害をもつ人たちが本物に触れてほしいと思うものの、考えてします。
- ・車椅子席の常設や、補助犬の同伴などの手だてを常態化してほしい。 ・トイレ、段差、Pの設備をととのえてほしい
- ・アクセスに関し、優先駐車場、会場配置等、鑑賞に際し不安があります。鑑賞する迄、鑑賞中、鑑賞内容以前に設備、対応にて徐々にでも少数の意見をもっと取り入れる仕組みがあれば嬉しいです。

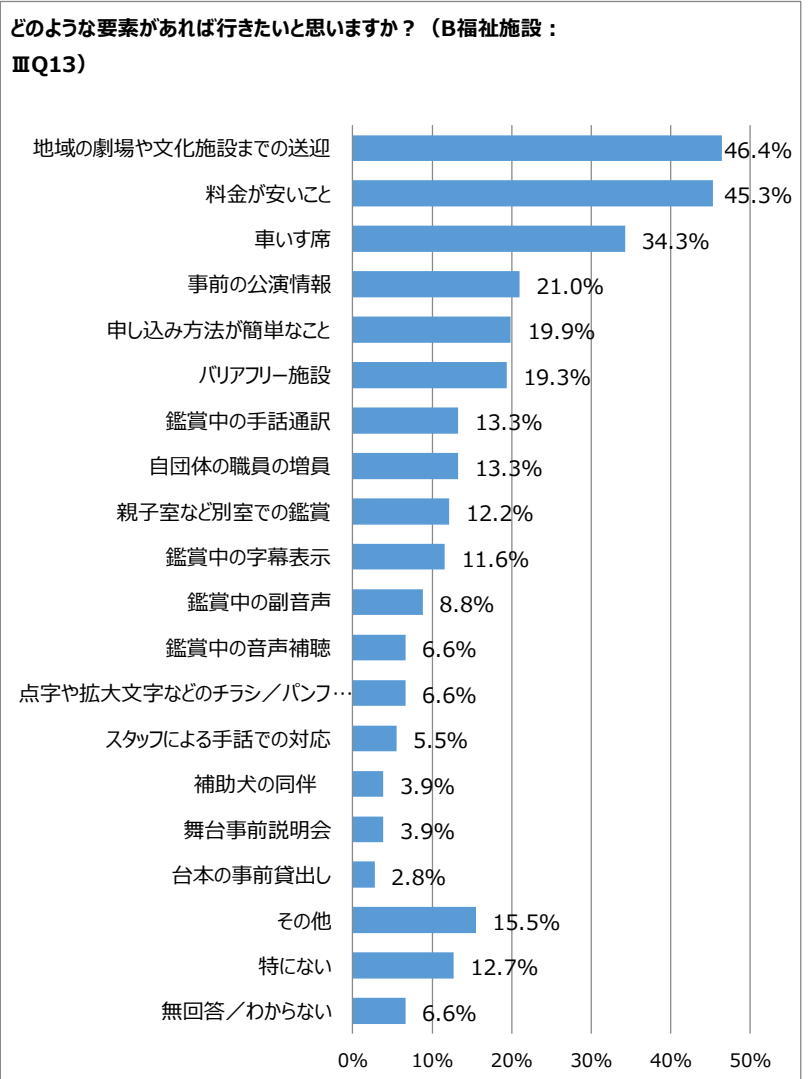
### ⅢQ1 障がいのある人の舞台芸術の鑑賞活動について

#### 地域の劇場や文化施設に出向いて鑑賞したことはありますか？で「ない」と回答された方に伺います

ⅢQ13. どのような要素があれば行きたいと思えますか？（複数回答可）

	件	%
地域の劇場や文化施設までの送迎	84	46.4%
料金が安いこと	82	45.3%
車いす席	62	34.3%
事前の公演情報	38	21.0%
申し込み方法が簡単なこと	36	19.9%
バリアフリー施設	35	19.3%
鑑賞中の手話通訳	24	13.3%
自団体の職員の増員	24	13.3%
親子室など別室での鑑賞	22	12.2%
鑑賞中の字幕表示	21	11.6%
鑑賞中の副音声	16	8.8%
鑑賞中の音声補聴	12	6.6%
点字や拡大文字などのチラシ／パンフレット	12	6.6%
スタッフによる手話での対応	10	5.5%
補助犬の同伴	7	3.9%
舞台事前説明会	7	3.9%
台本の事前貸出し	5	2.8%
その他	28	15.5%
特になし	23	12.7%
無回答／わからない	12	6.6%

（有効回答数：181）



## ⅢQ13-3. 事前の公演情報 具体的に

- ・SNS、情報誌 ・FAX、メール ・情報誌、メール、FAX
- ・情報誌やチラシ等の目で確認できる物 ・情報保障の有無、相談可についてのついでにわかればわかりやすい。
- ・新聞、ラジオ、テレビ ・外に対して人為的に積極的な推進が要

## ⅢQ13-4. 申し込み方法が簡単なこと 具体的に

- ・今の方法では申し込み締切が早い、当日参加も認めてほしい ・インターネット ・FAX、メール
- ・メール ・電話、FAX ・メールやファクスで申し込みやすいこと ・メール、ファクス

## ⅢQ13-16. バリアフリー施設 具体的に

- ・車いすの方もたくさんおられるので、そのような配慮のある施設
- ・出入口がスロープになっている事、障がい者用トイレがある ・電動車いすでの活動ができるか
- ・マット、座敷等、横になって見れる場所 ・（大人用）ベッドの休息室 ・段差がない等
- ・車イスの方が使えるトイレが複数必要 ・車椅子の移動がしやすいこと
- ・ユニバーサルデザインの搭載されている施設

## ⅢQ13-18. その他 具体的に

- ・近いこと ・予算づけが厳しい為、招待だと助かります ・劇場が広いこと、劇場スタッフの障がい理解
- ・魅力的な内容があれば ・平日に学校に来ていただければ可能
- ・招待であれば検討、利用者に興味があるか ・教育活動の中で行っている
- ・肢体不自由の方が多いため、来て頂くと鑑賞しやすいです。
- ・館内移動のお手伝い、使い安い障がい者用トイレ
- ・20名が車イス利用者であり、移動と車イス席が確保できれば行きやすい。
- ・時間があれば ・時間帯が児童生徒の在校時間であること
- ・活動地域では、この様な取り組みは、皆無なので、一度観てみたい。
- ・本校児童生徒が参加していること ・会場までの移動時間（時間がかかると体力的に負担もかかる為）
- ・内容、ストーリーなど ・医療的ケア ・時間、内容が子ども達にとって適切であれば考えたい。
- ・日程確保(前年度1月頃にわかれば) ・障害特性に応じた開催
- ・通所型の施設のため、情報をご家族等に提供することは可能です。
- ・良い観劇案内があれば、利用者のおたよりで紹介しています。（隔月で偶数月発行）
- ・生徒の興味、関心にマッチした内容であること
- ・超重症児のため、医療ケアを継続して受け続けられる環境が必要である。そのため、隣接し、かつ子どもたちが入所している施設内で、短時間のものでは、看護師同伴のもと鑑賞可能な児童生徒も出てくると思われます。
- ・入退場の簡易さ ・人口呼吸器のために電源確保、休憩場所（車から降りられるスペース）
- ・医療必要度の高い利用者が多いため舞台芸術の鑑賞に行くことができないのが現状です。そのため、行事の際に劇団に来て頂いて鑑賞しています。
- ・一般の方の障害者に対する理解

### ⅢQ14. 地域の劇場や文化施設に対して意見や希望などがあればお聞かせください

- ・障がい者の舞台芸術表現を近くの文化施設でしてほしい。
- ・施設利用者を対象に行う催しがあれば参加したい。参加する際には車で移動が望ましいので駐車場があるイベントには参加しやすい。移動距離が少ない駐車場なども配慮してほしい。
- ・本物の芸術文化に触れる場として、今後、検討していく必要があると考える
- ・学校で予算があればどんどん劇場や文化施設に行きたいところです。（できれば、料金が安かったりいきやすいところがあると嬉しいです）
- ・地域での文化活動に係る財源が確保されることが望みます。※施設は、充実していると思いますので。
- ・車の乗降スペースをしっかりと確保してほしい
- ・障がい者用駐車場が使いにくく台数も限られている。雨天時など車椅子の方はぬれてしまうので利用がむずかしい。
- ・身障者トイレがあっても、スペースが狭かったり、ベッドがないためにトイレが使いにくいことや用をたすのに時間がかかるため、トイレ待ちが増えて、膀胱炎になる利用者もいるので、トイレ数と広いスペース、ベッドのあるトイレが良い。
- ・安価もしくは無料で気軽に借りられると素人集団でも利用する機会が持ちやすくなると思います。
- ・機会があれば、ぜひ利用させていただきたいと思います。
- ・活動地域では、この様な取り組みは皆無なので、一度観てみたい。
- ・文化施設のトイレ（障害者用）増設、確保願えば
- ・手話通訳者の同伴を相談したところ入場を断られたと、相談に来られた聴覚障害者が居られます。障害に応じて様々な対応が必要だということを劇場や施設関係者にも理解して欲しいです。
- ・団体が大きく、年齢的にも幅があるため鑑賞を取り入れることは難しい。グループ活動として出かけるためにも、料金が一番のネックである。家庭から出向いてもらうにも、障害実態等二の足を踏むケースがほとんどである、気がねせず参加できる場が臨まれる。
- ・名古屋の近郊でバリアフリーの会場で行われる情報が多くあれば、利用者の方に情報提供していくことができると思います。
- ・劇場や文化施設に行くとなると、音が苦手、集団が苦手、etc…。他のお客さんがいる中だと、パニックになる場合もあるので、迷惑がかかります。自団体の施設に直接、音楽隊や演劇、パフォーマンス集団をお呼びして、鑑賞しているのが現状です。
- ・体験や参加型など観者も楽しめるような内容があるといいなと思います。
- ・朝の送迎、夕方の送迎時間に支障なく鑑賞ができる時間であること。
- ・料金が必要ならいける人、いけない人が生じ、全体を考えると「行かない」という判断になると思います。
- ・こちらが移動して観に行きやすい状況ではありません。こちらの施設に来ていただいで上演してもらう等の鑑賞の機会を紹介してもらえるならとてもうれしいです。
- ・見えづらい、見えない方が座席までの案内や安全な移動が確保され、舞台芸術を視覚に障害があっても楽しめる工夫があると良い。
- ・年 1 回程度発表の機会があるので継続利用できるとよい
- ・障がい者が暮らす、地域の劇場（阿倍野区）は都市のため、比較的、鑑賞しやすいサポートがありますが、魅力的な小劇場では、まだまだ難しい状況です。しかし、ハードの整備ではなくソフト（人的支援）でカバーできることがほとんどあり、この部分をどう社会に伝えていけるかが、今後の課題であると思われます。ビッグ・アイの様な問題提起が各地で高まっていくことを期待しております。

※自由記述（「具体的に」など）については原文ママとした。

※集計における「合計」の表記における〈複数回答可〉もしくはそれを認める回答について、件数の合計と有効回答数が一致しないものについて省略した。

※有効回答数が少ない回答（およそ 50 以下のもの）についてのグラフは回答数の数値を表記した。

※質問の F1 および F2 については個人情報保護等により表示しない。